

556-279



1200501510998

556

279

5. 5. 16



THE GUIDE-BOOK
OF AMERICA

米 國 旅 行 案 內

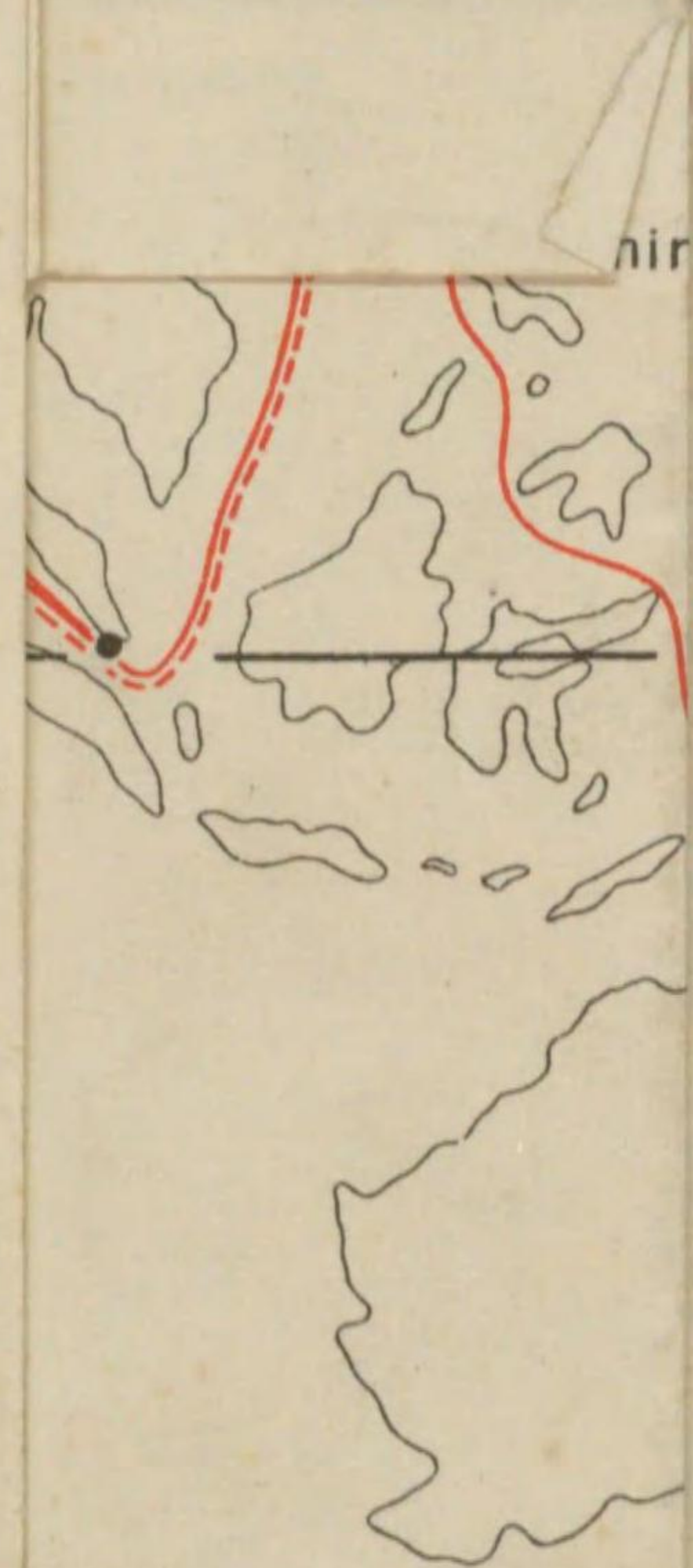
海 外 旅 行 案 內 社



TOKYO

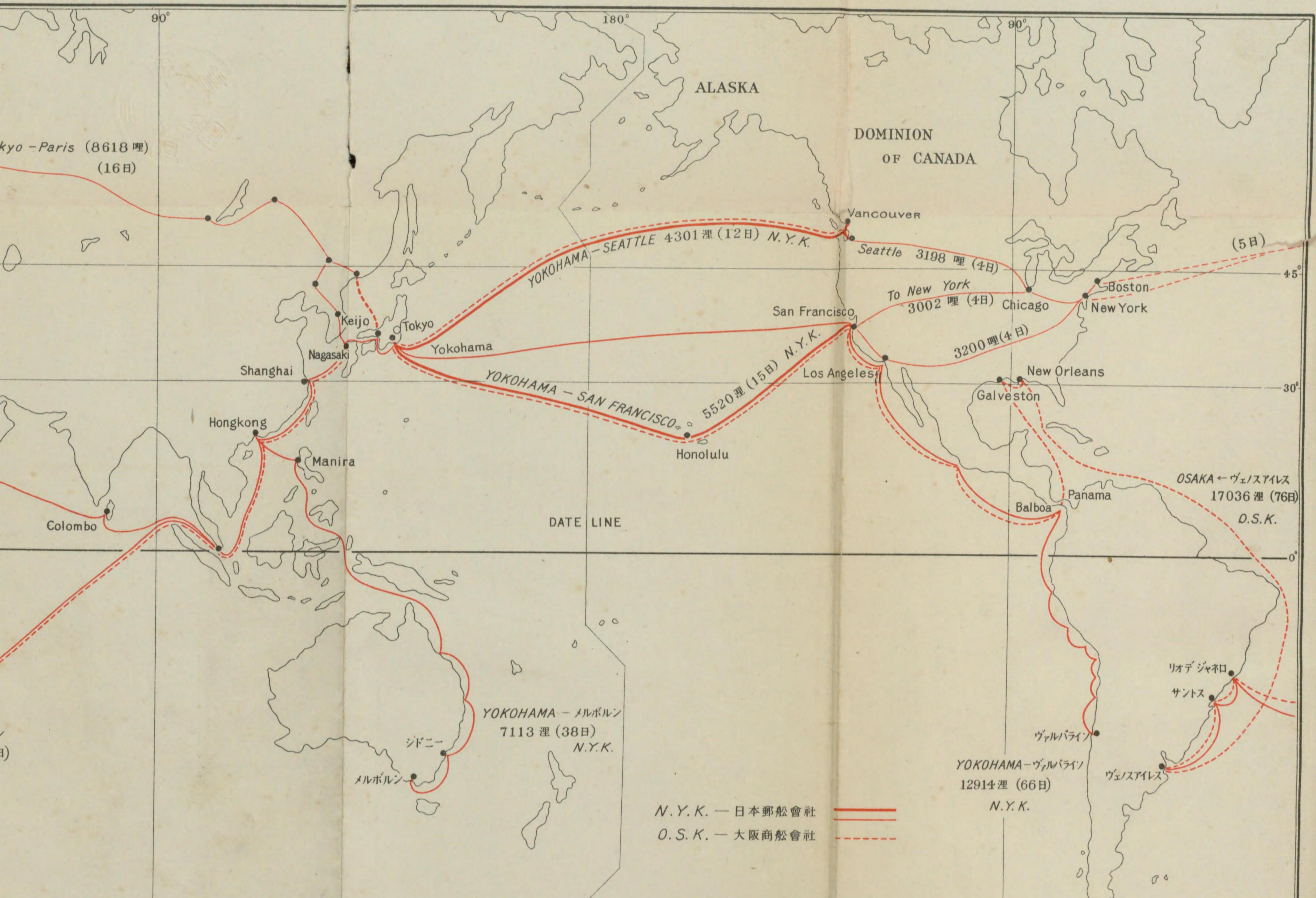
KAIGAIRYOKO-ANNAISHA





nir

VII 105° VIII 120°



N. Y. K. — 日本郵船會社
 O. S. K. — 大阪商船會社

YOKOHAMA - VALPARAISO
 12914 哩 (66日)
 N. Y. K.

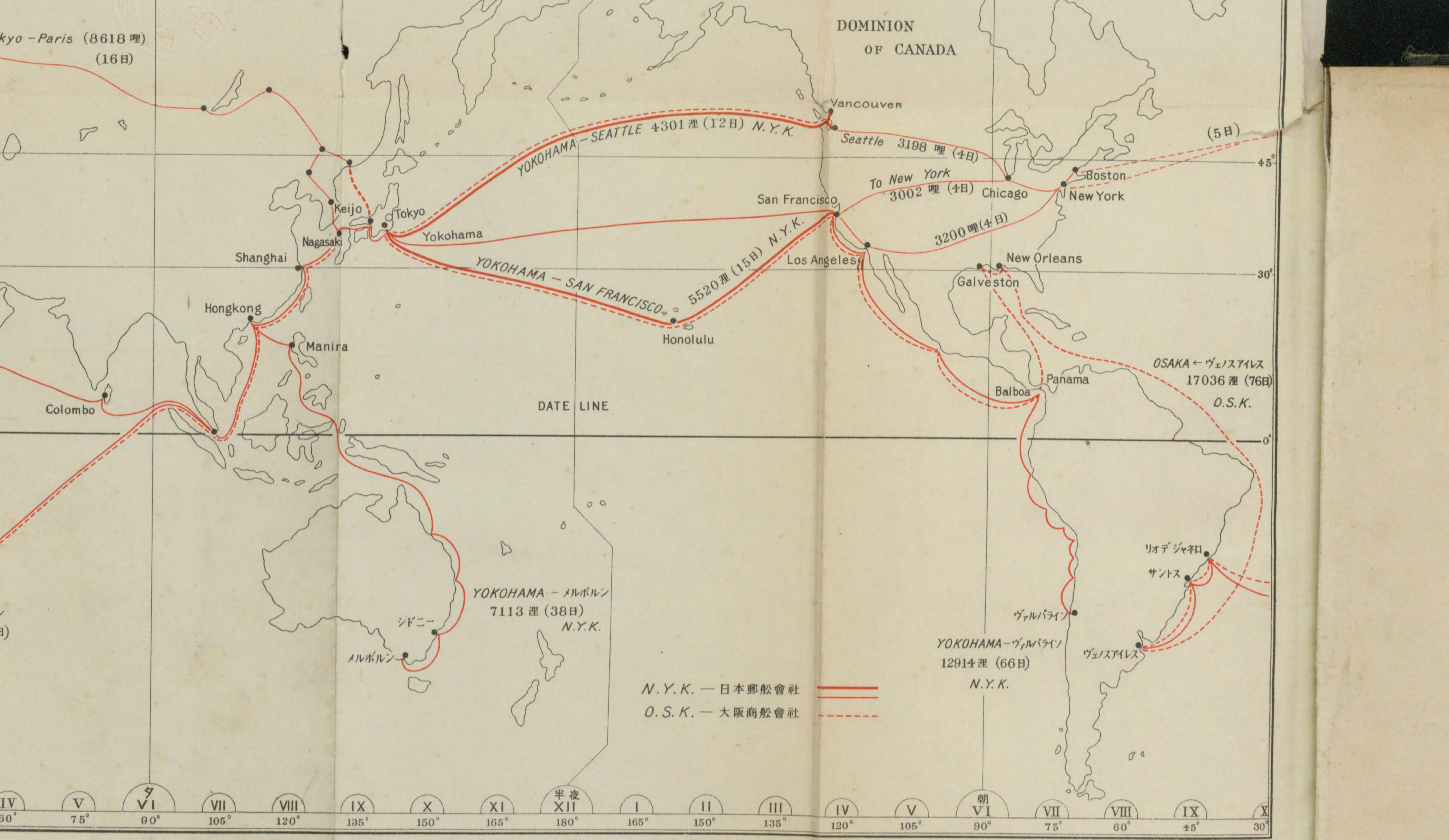
YOKOHAMA - MELBOURNE
 7113 哩 (38日)
 N. Y. K.

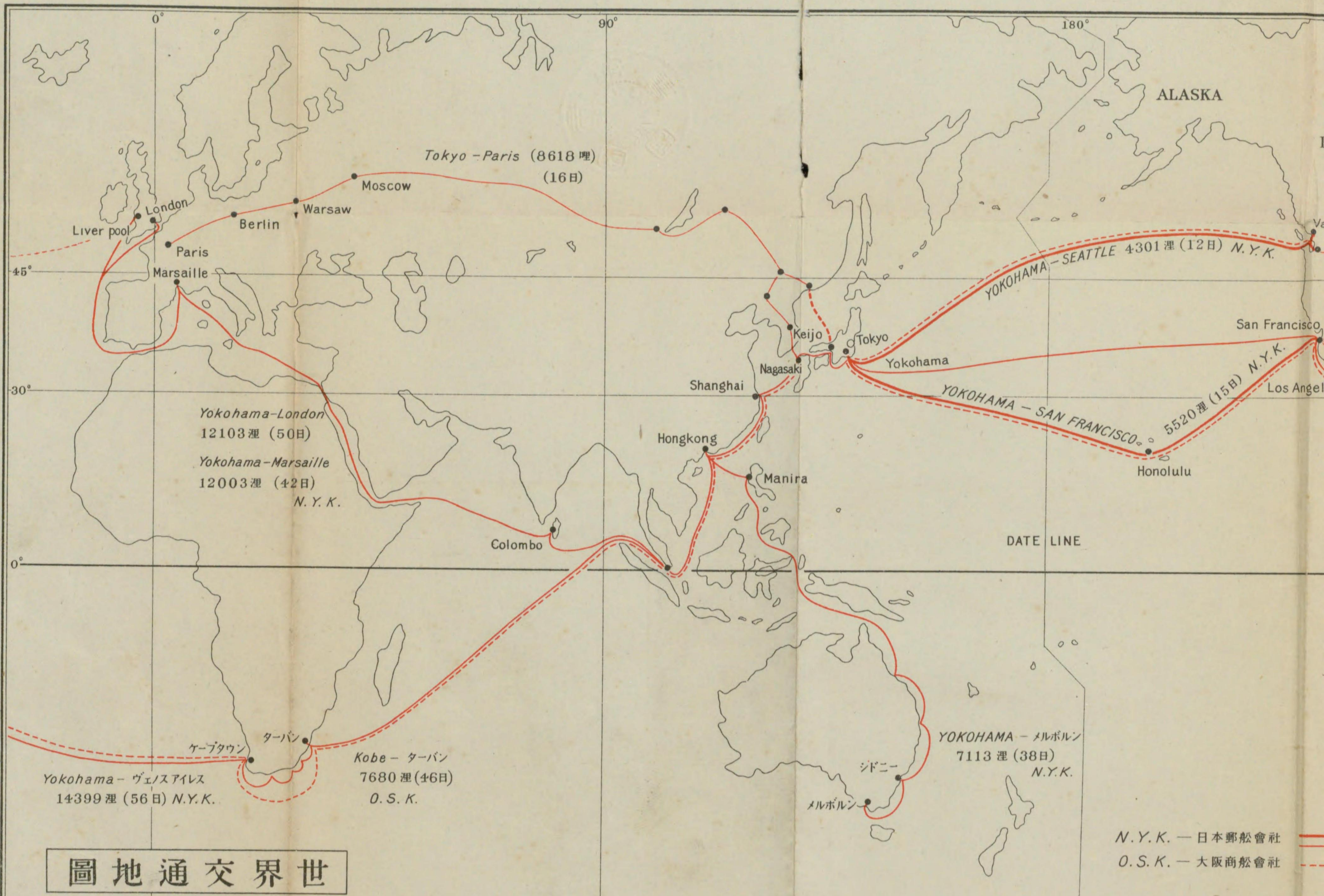
OSAKA ← VALPARAISO
 17036 哩 (76日)
 O. S. K.

YOKOHAMA - SAN FRANCISCO
 5520 哩 (15日) N. Y. K.

YOKOHAMA - SEATTLE
 4301 哩 (12日) N. Y. K.

Yokohama - Paris (8618 哩)
 (16日)





世界交通地圖

N.Y.K. — 日本郵船會社
 O.S.K. — 大阪商船會社

Yokohama - ヴェニスアイレス
 14399 哩 (56 日) N.Y.K.

Kobe - ターバン
 7680 哩 (46 日)
 O.S.K.

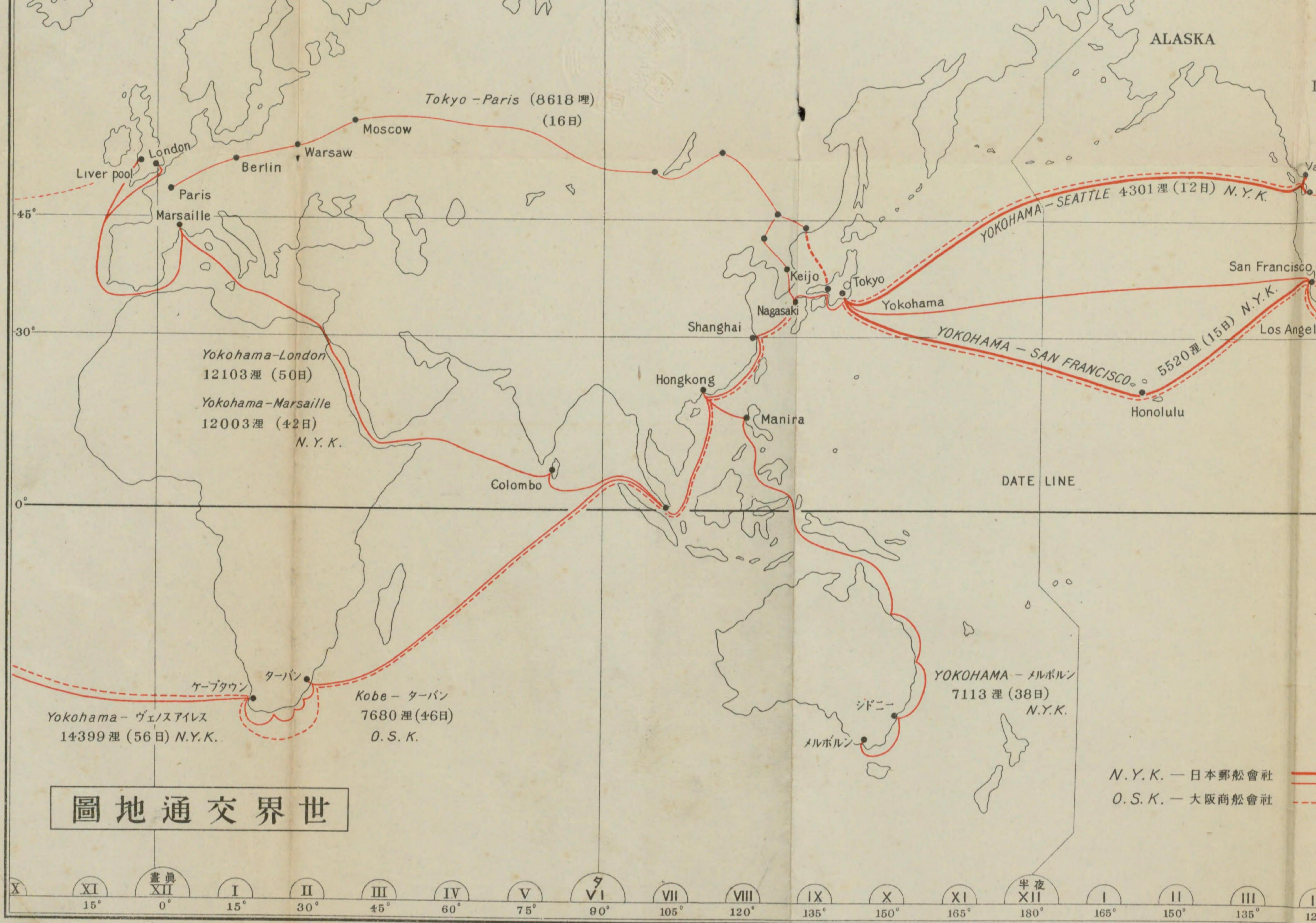
Yokohama - London
 12103 哩 (50 日)
 Yokohama - Marseille
 12003 哩 (42 日)
 N.Y.K.

Tokyo - Paris (8618 哩)
 (16 日)

YOKOHAMA - MELBOURNE
 7113 哩 (38 日)
 N.Y.K.

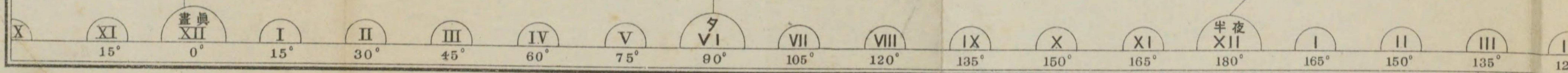
YOKOHAMA - SAN FRANCISCO
 5520 哩 (15 日) N.Y.K.

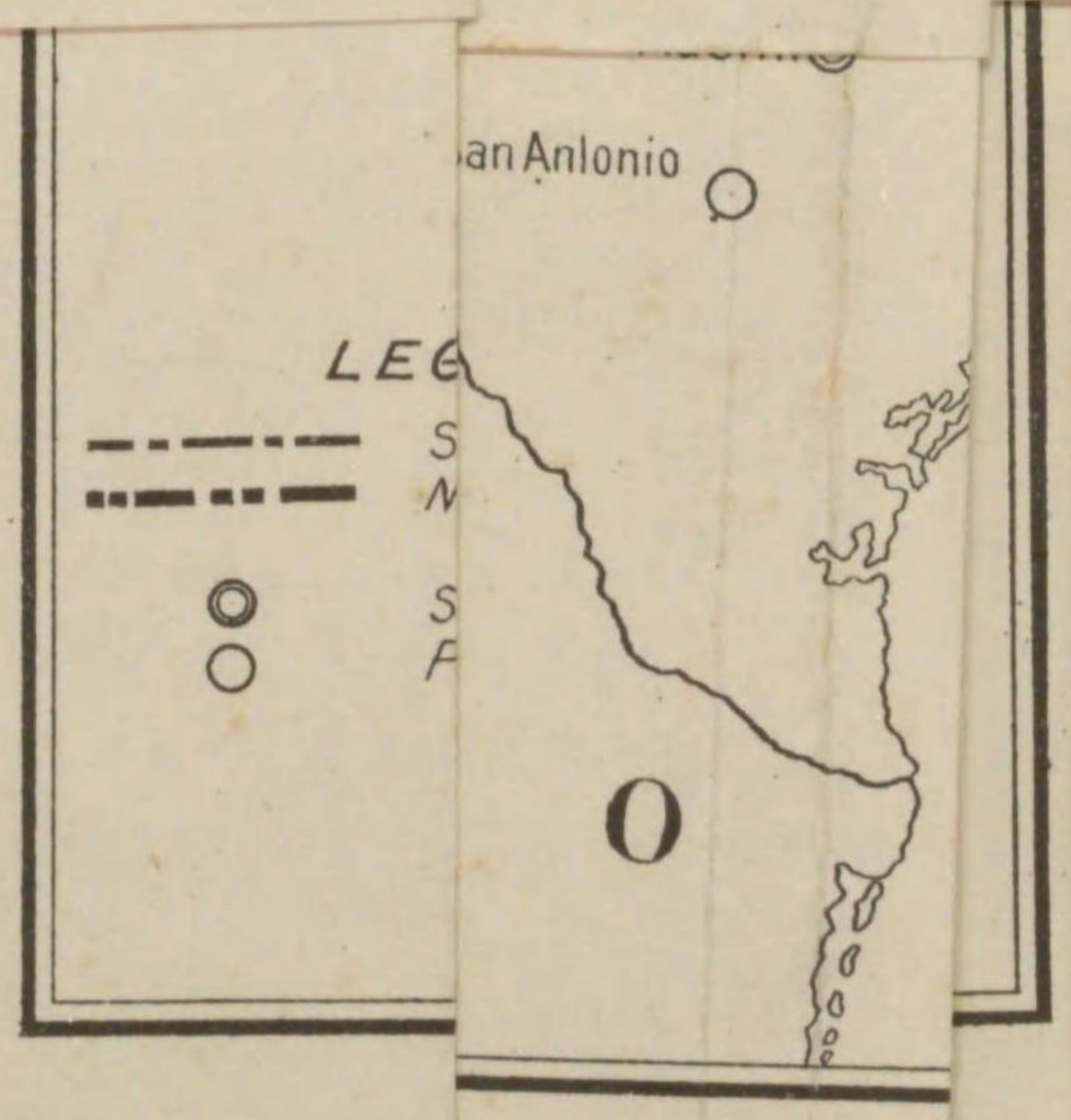
YOKOHAMA - SEATTLE 4301 哩 (12 日) N.Y.K.



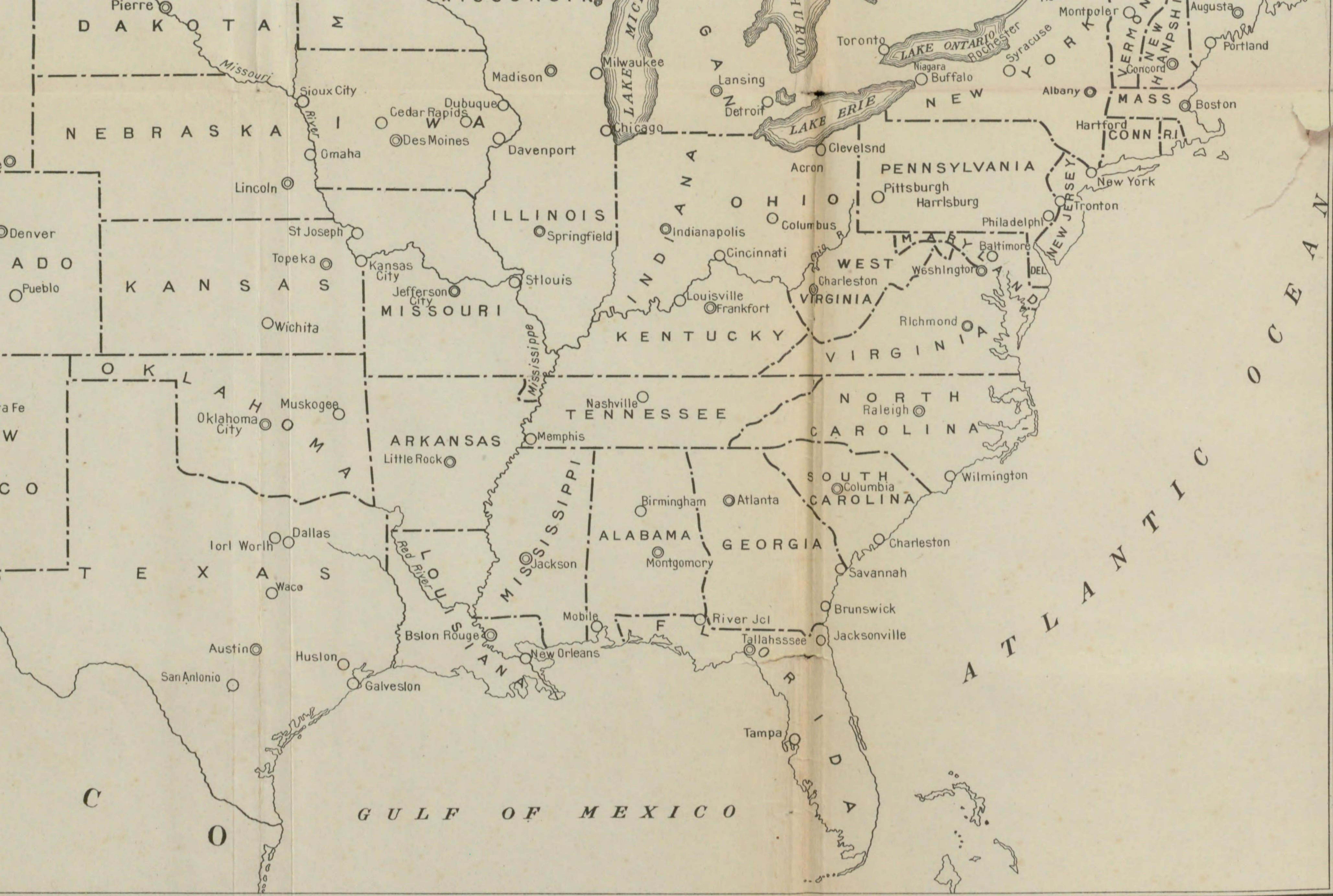
世界交通地圖

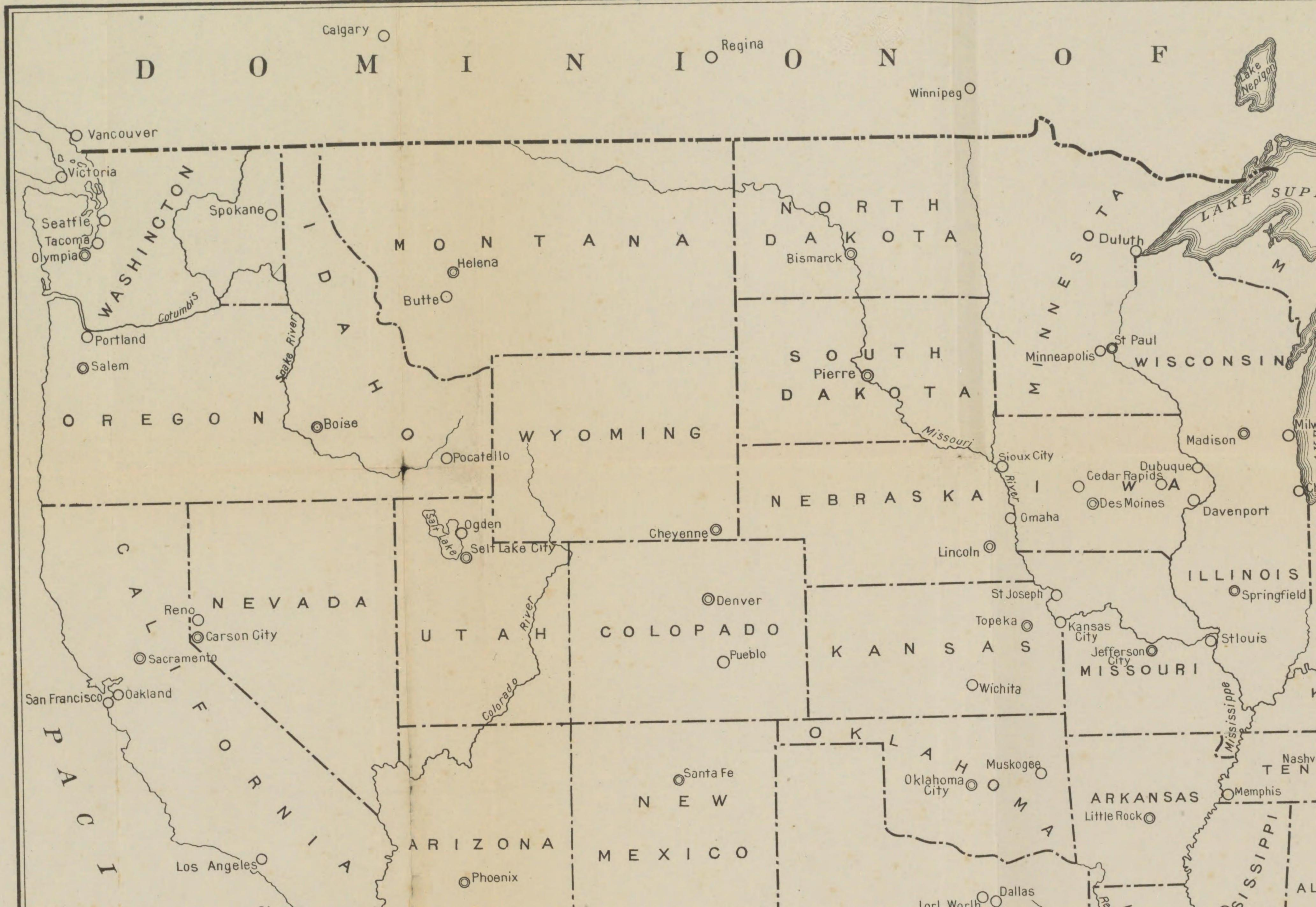
N.Y.K. — 日本郵船會社
 O.S.K. — 大阪商船會社

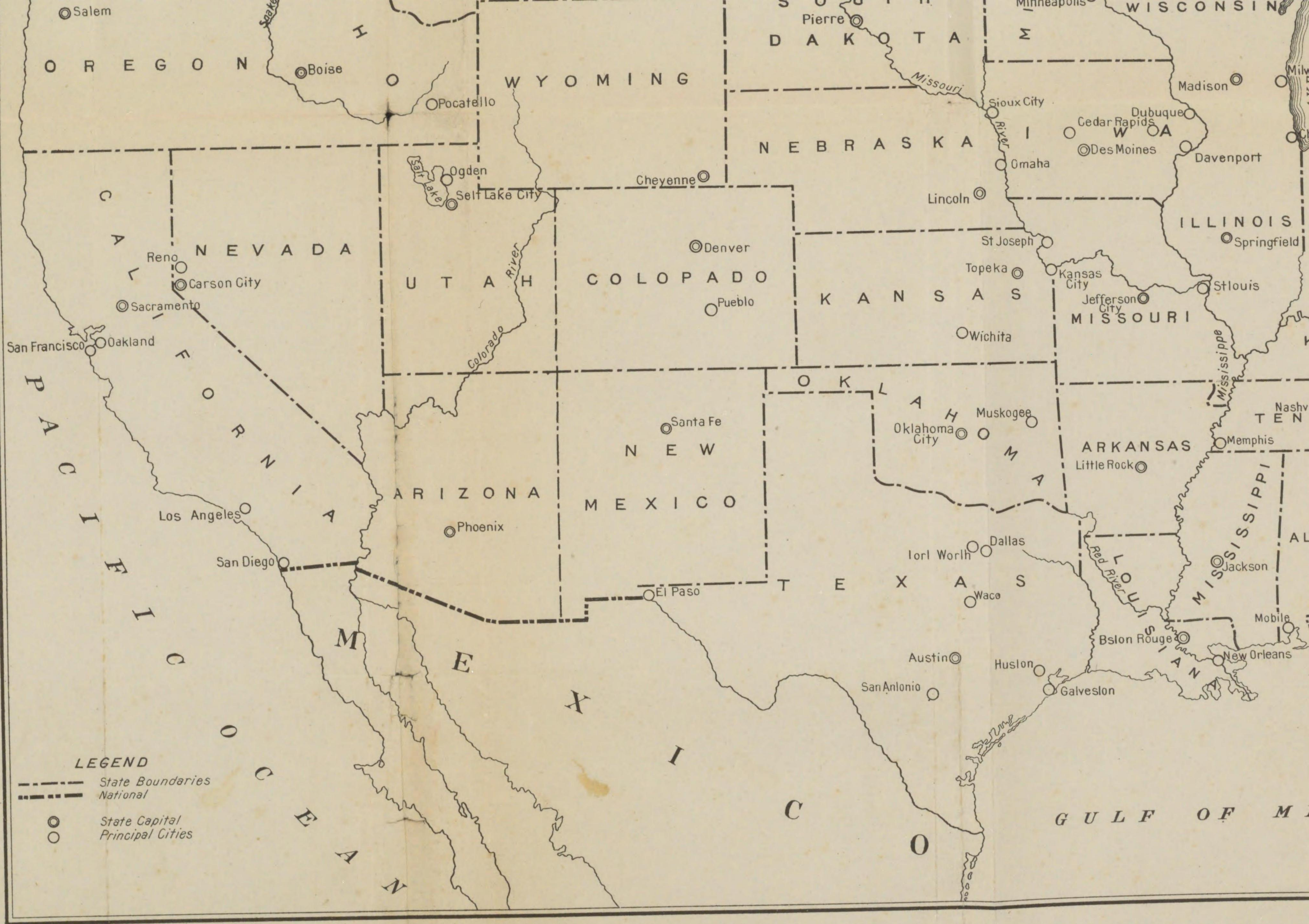






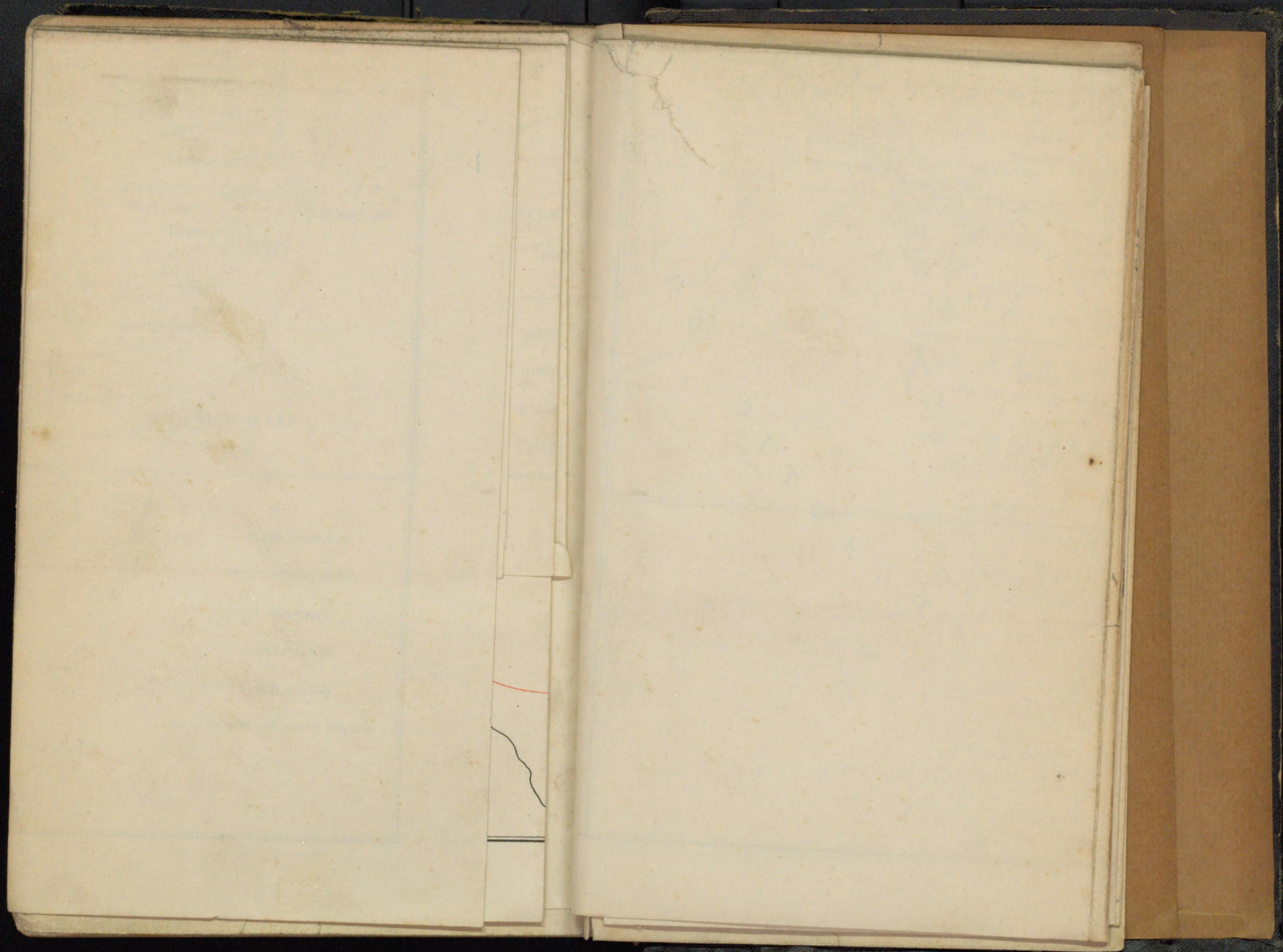






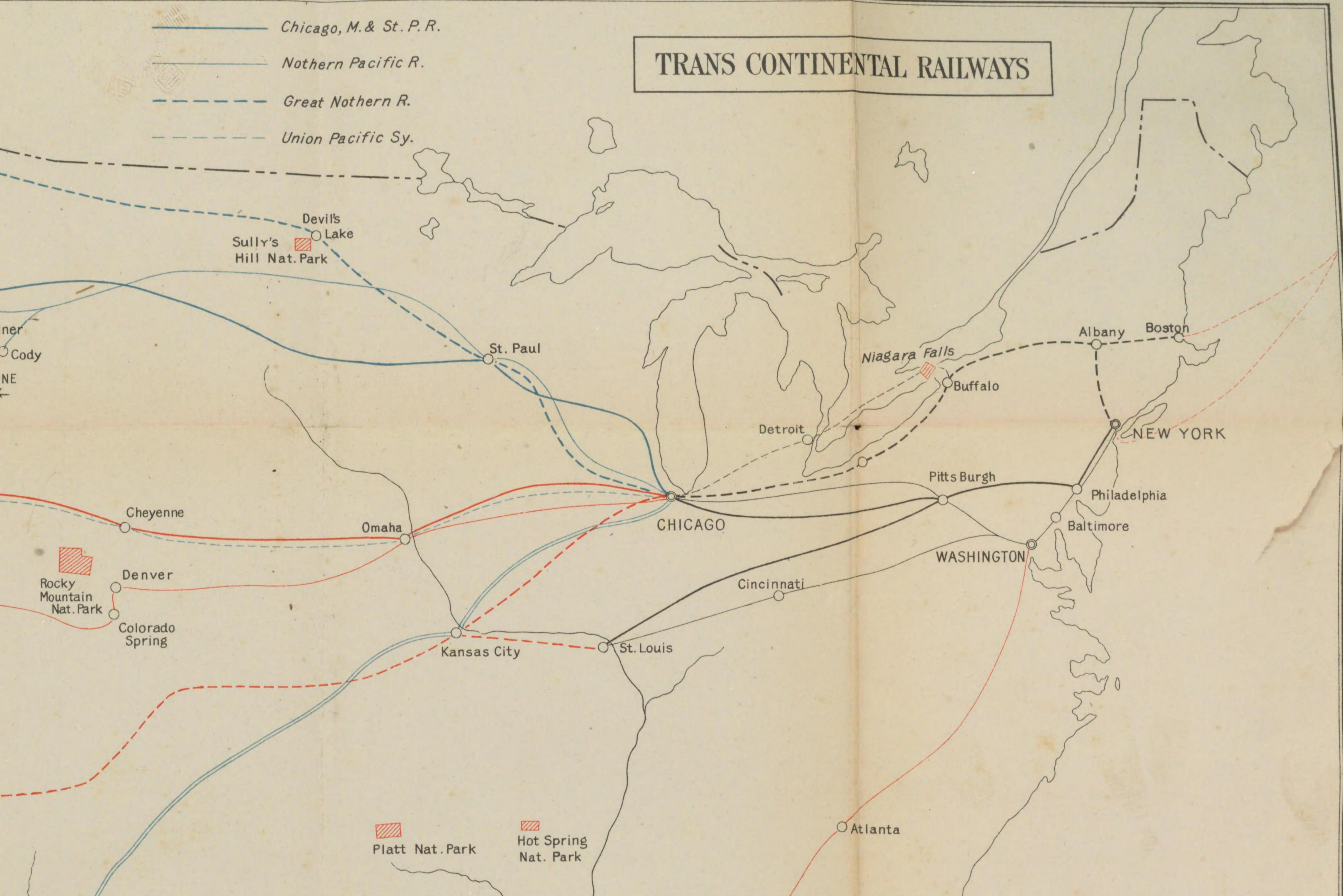
LEGEND
- - - State Boundaries
- - - National
○ State Capital
○ Principal Cities

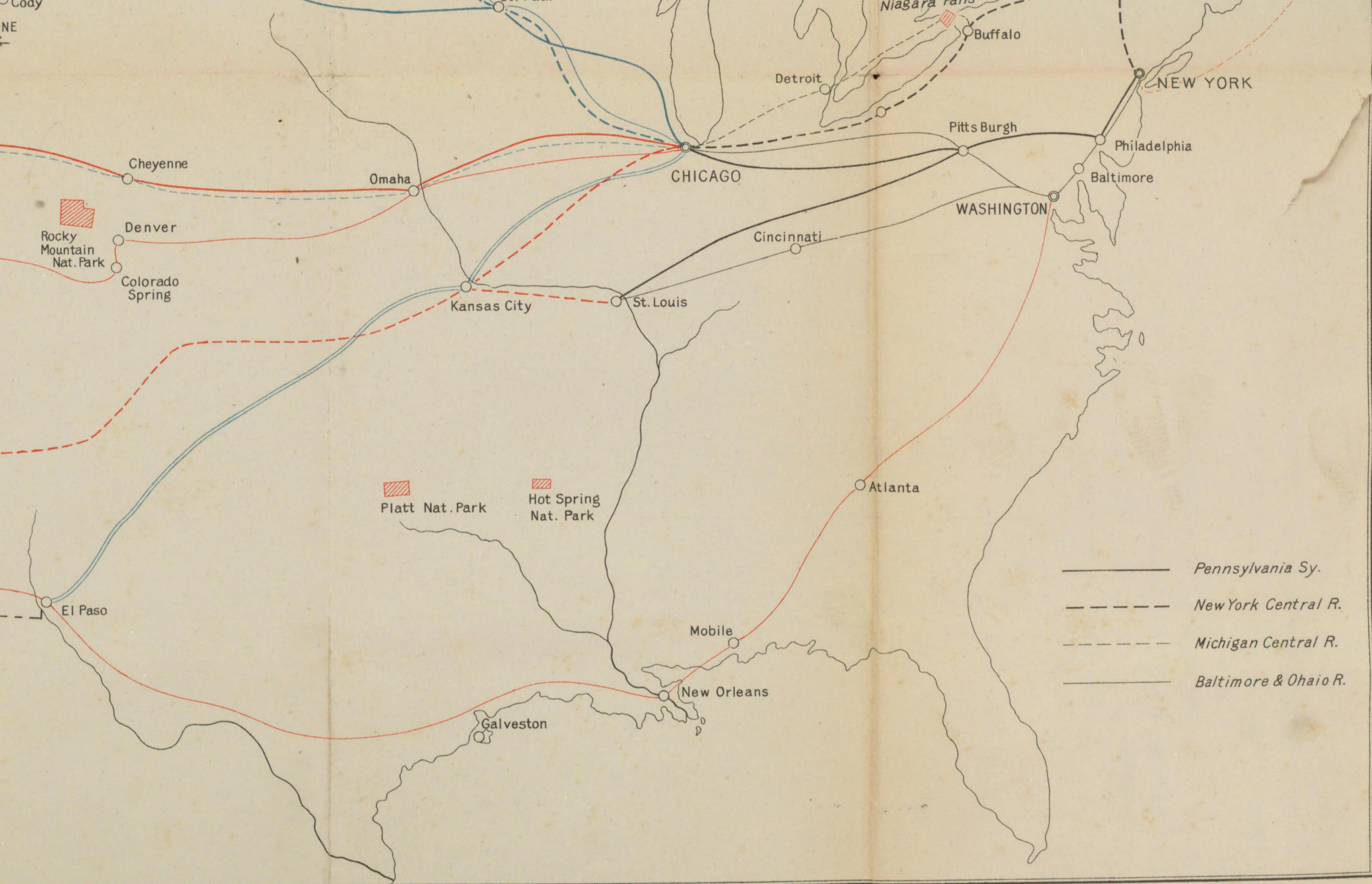
OREGON
Salem
Boise
Pocatello
WYOMING
PIERRE
D A K O T A
S I O U X C I T Y
M I N N E A P O L I S
W I S C O N S I N
M A D I S O N
S I O U X R I V E R
S I O U X C I T Y
D U B U Q U E
C E D A R R A P I D S
D E S M O I N E S
D A V E N P O R T
N E B R A S K A
O M A H A
L I N C O L N
C H E Y E N N E
S A L T L A K E
O G D E N
S E L T L A K E C I T Y
R E N O
C A R S O N C I T Y
S A C R A M E N T O
S A N F R A N C I S C O
O A K L A N D
C A L I F O R N I A
L O S A N G E L E S
S A N D I E G O
U T A H
C O L O R A D O
D E N V E R
P U E B L O
K A N S A S
S T J O S E P H
T O P E K A
K A N S A S C I T Y
J E F F E R S O N C I T Y
W I C H I T A
M I S S O U R I
S T L O U I S
S P R I N G F I E L D
I L L I N O I S
O K L A H O M A
S A N T A F E
O K L A H O M A C I T Y
M U S K O G E E
N E W M E X I C O
A R K A N S A S
L I T T L E R O C K
M E M P H I S
N A S H V I L L E
L O U I S I A N A
I O R T W O R T H
D A L L A S
W A C O
J A C K S O N
M O B I L E
B I S T O N R O U G E
N E W O R L E A N S
A U S T I N
H U S T O N
S A N A N T O N I O
G A L V E S T O N
A R I Z O N A
P H O E N I X
T E X A S
E L P A S O
M I S S I S S I P P I
A L A B A M A
G U L F O F M E X I C O
P A C I F I C O C E A N



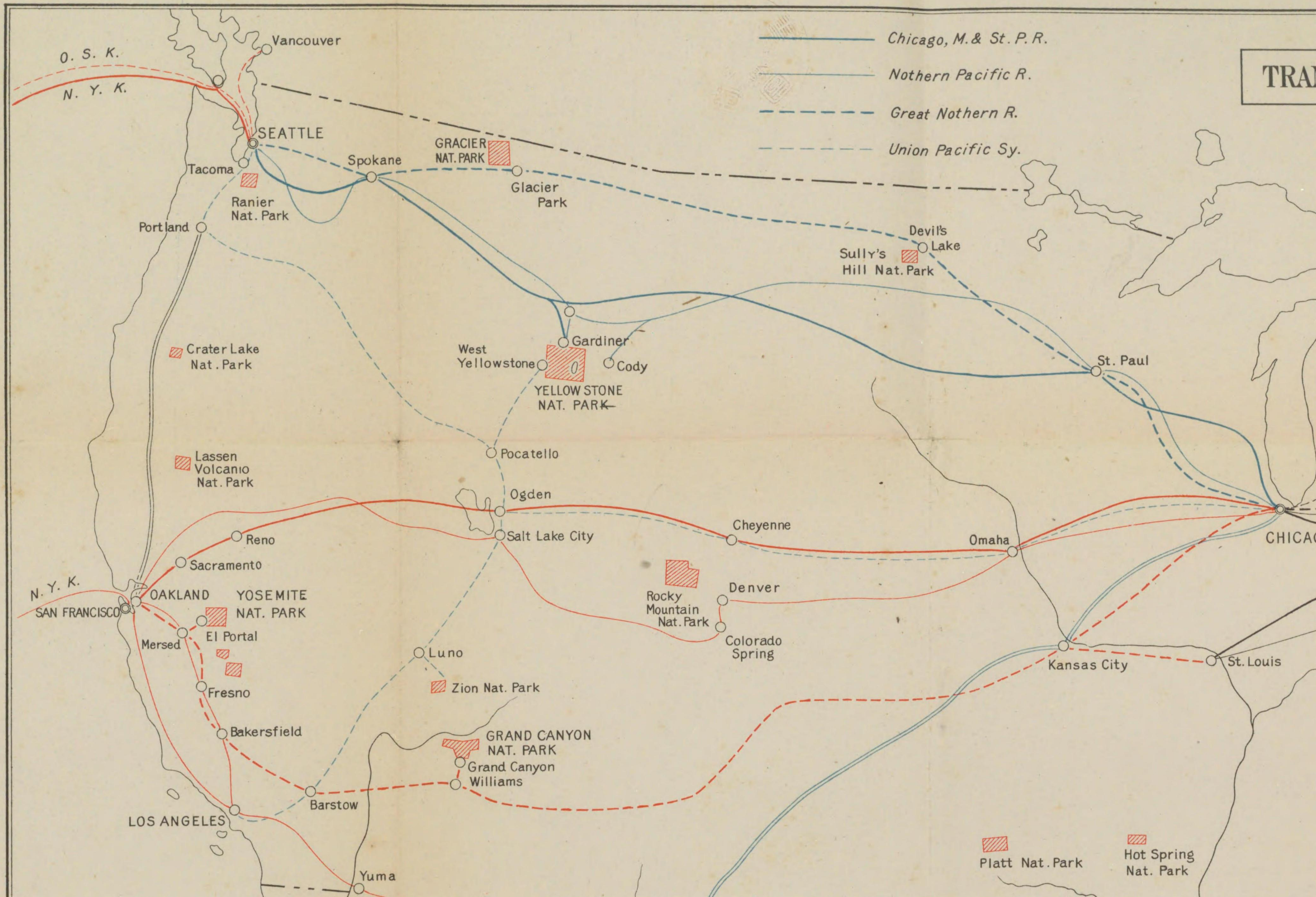
TRANS CONTINENTAL RAILWAYS

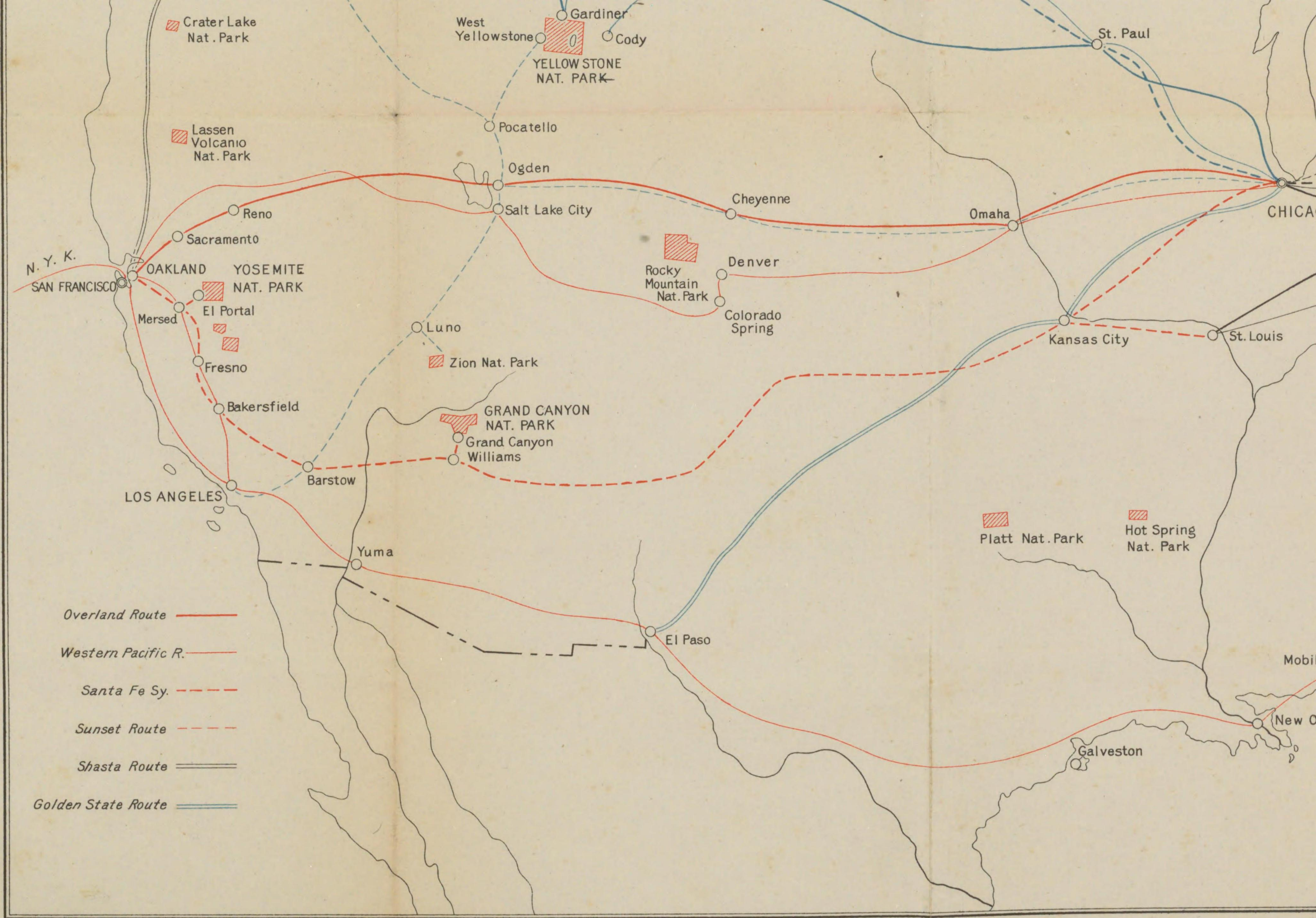
- Chicago, M. & St. P. R.
- Nothern Pacific R.
- Great Northern R.
- Union Pacific Sy.





- *Pennsylvania Sy.*
- - - - - *New York Central R.*
- · - · - *Michigan Central R.*
- *Baltimore & Ohio R.*





序

近代物質文明の發達は國際的友誼と相まつて、世界各國の間を益々相近づけてゐる。その中であつて、日本とアメリカとは二つの驚異すべき國である。

これ等の二つの勢力は相衝擊するか？ 兄弟的愛を結ぶか？ すでに危機は迫つてゐる。然し何よりも先きにアメリカの實相を識らなければならぬ。生けるアメリカを理解しなければならぬ！ 又、現にアメリカの地にあつて、働いてゐる同胞の實狀を見なければならぬ。

ジャズとキネマのアメリカが眞のアメリカではない。眞のアメリカはわれわれが差しよべる友愛の手をまち望んでゐる。

目を逐ふて出版される、政治的漫遊記はたのむに足らず、學識的紀行文は

實用に適せず、雑駁な見聞記は唾棄すべきものが多い。

今こゝにわが社は新しき指針となる可き叢書シリクスを刊行する。これ等は能ふかぎり、数字の精確、費用の明細、各地の紹介等を期した。また、それが爲めに餘りに簡潔無味な地理書の如きものになることを避けた。又、事情の許す限り、多くの地圖や寫眞を加へ、實際的便宜の爲めには體裁を損ずることを犠牲にして歐文文字を交へた。

なほ、北米經由歐洲行について記述し、カナダ、アラスカ等をも本書の中に編入した。

一九二七年八月

海外旅行案内社

米國旅行案内目次

序	一
詩 (ワオルト ホイットマン)	三
U·S·A	一
大陸發見	一
獨立戰爭	二
地勢	三
氣候	四
住民	五

必要な手續

非歩合移民に屬するもの	六〇
入國を禁止されてゐる者	六三
携帶金に就て	六五
北米入國税	六六
讀書試験	六七
一、旅券	七一
二、査證	七二
旅券下附管轄地	七四
三、健康證明	七八
衣類及び携帶品	七九

貨物及び手荷物 八一

太平洋横斷航海 八七

日本船	八七
日本郵船會社シアトル航路	九一
日本郵船サンフランシスコ航路	九四
ホノルル行乗船賃	九五
サンフランシスコ行乗船賃	九七
大阪商船會社北米航路	九九
郵船定期航路日程表	一〇〇
乗船券購入の時	一〇二
乗船地案内	一〇三

乗船地の旅館

一〇五

いよいよ出発

一〇九

横濱出帆

一〇九

ハワイ首都ホノルル

一一〇

時差と日附變更線

一一三

禮儀の注意

一一六

到着港にて

一一二

陸近し!

一一二

移民官の訊問

一一三

税關

一一四

關稅

一一五

サンフランシスコ

一一一

上陸の印象

一一一

ホテル案内

一一二

マーケット街

一一四

フェリービルディング

一一五

市役所と圖書館

一一六

コールズルダイトパーク

一一七

カリフォルニア大學

一一八

スタンフォード大學

一一九

ロサンゼルス

一二三

天使の町	一四三
市内名所	一四四
ハリウッド	一四五
日本街	一四六
野菜市場	一四七
海岸遊覽地	一四八
パサデナ	一五一
ウキルソン山	一五二
サンタカタリナ島	一五三
カリフォルニア州めぐり	一五七
在留邦人	一五七

オクランド	一五八
パークレー	一五九
ワットソンヴィル	一六〇
モントレー	一六一
サンタバーバラ	一六二
ペーカースフィールド	一六三
ヨセミテ公園	一六四
フレズノ	一六七
ストツクトン	一六八
サクラメント	一六九
オレゴン州	一七一

ポートランド 一七一

日本からシアトルへ 一七五

シアトル航路 一七五

ヴィクトリア 一七六

シアトルに上陸 一七七

シアトル 一七八

市街交通 一八一

シアトルの旅館 一八二

遊覧地 一八三

シアトル在留邦人 一八四

タコマ 一八五

シアトルの停車場 一八六
汽車賃 一八七

北部横断四線 一九一

シカゴ經由 一九一

時間表 一九二

汽車の設備 一九九

寝臺車料金 二〇〇

手荷物制限量 二〇二

沿線の風光 二〇五

エロー ストーン公園 二〇六

セント ポール 二〇七

サン フランシスコを起點として……………二二一

六幹線……………二二一

時間表……………二二四

各地への哩數……………二二九

汽車賃と寢臺料金……………二三〇

汽車中の注意……………三三一

切符の有効期間……………三三二

小兒鐵道運賃……………三三三

寢臺車の種類……………三三三

中部横斷……………三二七

オーヴァーランド ルート……………三二七

ウエスターン パシフィック鐵道……………三三〇

ユニオン パシフィック鐵道……………三三一

南部横斷……………三三五

アチソン トカベ アンド サンタフェ……………三三五

サウザーン パシフィック……………三三七

ゴールズン ステイツ ルート……………三三九

シカゴのりかへ……………二四三

シアトルより……………二四三

サン フランシスコより……………二四五

シカゴよりニューヨークへ……………二四九

四つの線路……………二四九

時刻表……………二五〇

見よナイアガラ瀑布……………二五五

大飛瀑……………二五五

観光列車……………二五六

シカゴ……………二六三

新興都市……………二六三

リンカーン公園……………二六四

大百貨店……………二六五

ホテル……………二六六

ニューヨークに入る……………二六九

大ニューヨーク……………二六九

市民……………二七〇

ウォール街……………二七一

ブロードウェイ……………二七二

地下鐵道……………二七三

港内埠頭……………二七四

製造工業……………二七五

停車場……………二七六

ホテル……………二七七

首府ワシントン

二八一

白と緑の町

二八一

著名都市

二八五

フィラデルフィア

二八五

アトランチック シティ

二八六

學藝の町ボストン

二八七

ピッツバーグ

二八八

ニュー オルリーンス

二八九

ガルヴェストン

二九〇

リッチモンド

二九〇

バルチモリア

二九一

その他の遊覽地

二九五

セクオイア國有公園

二九五

ゼネラル クラント公園

二九六

ラッセン ヴォルカノ公園

二九七

クレイターレイク公園

二九七

アパッシュ ツレイル

二九八

ブラット公園

二九九

フロリダ キイズ

三〇〇

著名の會社及工場

三〇一

ブラウン起重機會社	三〇一
クランプ造船會社	三〇二
マサッチュセッツ製靴機械會社	三〇二
グッドリッチ讓謨會社	三〇三
フォード自動車會社	三〇四
ウォーターマン會社	三〇四

あ、日本へ

ニュ、ヨークを發つて	三〇九
サンフランシスコ出帆	三一〇
西航日程表	三一二
故郷よ!	三一三

北米經由歐洲行

特典	三一七
通し切符賃金	三一八
荷物	三二〇
太平洋横斷汽船	三二二
大西洋汽船賃	三二三
大汽船	三二五
ニューヨーク サザムプトン間汽船賃	三二六
ニューヨーク シェルブル間汽船賃	三二八
ニューヨーク アイヴル間汽船賃	三二九
ニューヨーク リヴァール間汽船賃	三三一

ニューヨーク	ブリマウス間汽船賃	三三三
ニューヨーク	グラスゴウ間汽船賃	三三五
ニューヨーク	ロンドン間汽船賃	三三六
ニューヨーク	ハムブルグ間汽船賃	三三七
小兒奴婢汽船運賃		三三八
夏期と冬期期間		三四一
往復切符有効期間		三四二
モントリアール	ロンドン間汽船賃	三四三
カナダ		三四七
冷寒帯		三四七
産業		三四八

住民		三四九
日本とカナダ		三五〇
オッタワ附近		三五一
ヴァンクーヴァー		三五二
カナダ横断鐵道		三五三
カナダ入國法		三五四
アラスカ		三五五
南米西岸航路		三五七

地圖 目次

世界交通地圖

北米合衆國全州地圖

北米横斷鐵道地圖

卷頭

サン フランシスコ……………一二九

ロザンゼルス……………一四九

シアトル……………一七九

シカゴ停車場……………二四一

シカゴ市街……………二六一

ワシントン……………二八三

ニューヨーク……………三一五

寫真 目次

ワシントン記念碑及びホワイトハウス……………九

アメリカインディアン……………一〇

大農業……………三一

羊群……………三二

第五通(ニューヨーク)……………四一

ロッキーマウンテンの雪溪……………四二

フロリダ州のザボン……………五三

巨材の運搬……………五四

カリフォルニア州の園藝……………六九

養棕櫚(カリフォルニア州)……………七〇

樂園	ハワイ	八五
ダイヤモンド	ヘッド	八六
さよなら	!	一〇七
ゴールズン	ゲイト	一〇八
フェリー	ビルディング	一一九
マーケット街	(サンフランシスコ)	一二〇
ゴールズン	ゲイト公園	一四一
花屋		一四二
ロザンゼルス市街		一五五
ロザンゼルスの公園		一五六
ホテル	デルモント	一六五
サクラメント		一六六

苺の採取		一七三
シアトル		一七四
レニア山		一八九
タコマ		一九〇
ビュージェット	サウンドの鮭漁	一九三
ポトランド		一九四
汽車に乗る		二〇三
エローストーン公園の大瀧		二〇四
水煙柱		二〇九
タワー	フォール	二一〇
臺地		二二五
熊と遊ぶ		二二六

エルクビタン (ヨセミテ公園)	二三三
ヨセミテの瀧	二三四
グラントキヤンニオン	二四七
整然たるシカゴ	二四八
ナイアガラの壯觀	二五三
ナイアガラのダイナモ	二五四
ウタの自然橋	二六七
マンハッタン (ニューヨーク)	二六八
國會議事堂	二七九
北米汽車中	二八〇
ニューオルリーンス	二九三
マリボザの大樹	二九四

ボストン	三〇七
製鐵 (ピッツバーク)	三〇八
ヌアスパリ (ハワイ名所)	三三九
ベレンガリア號	三四〇
ベーカーズフィールド	三四五
アラスカ	三四六

—(目次終)—

米國旅行案内

海外旅行案内社

A 狹隘固陋な國家的領域觀念を脱し同胞の海外雄飛の機運を促し、而して國際的共存の發展を計らむ爲に本社は生れました。

B 海外旅行者の便益を企圖し、權威ある其して正確・詳細な海外旅行案内書の出版を致します。

C 海外漫遊・留學・視察研究・移住等、海外百般の事情に關するものをも陸續刊行致します。

東京 海外旅行案内社



WASHINGTON'S MONUMENT, FEBRUARY • 1885.

Walt Whitman

Al, not this marble, dead and cold:

*Far from its base and shaft expanding—the round zones circling,
comprehending,*

Thou, Washington, art all the World's, the continents' entire—
not yet alone, America,

Europe's as well, in every part, castle of lord or laborer's cot,
Or frozen North, or sultry South—the African's—the Arab's in
his tent,

Old Asid's there with venerable smile, seated amid her ruins ;

(Greet's the antique the hero new ? 'tis but the same—the heir
legitimate, continued ever.

The indomitable heart and arm—proofs of the never—broken line,
Courage, alertness, patience, faith, the same—'en in defeat
defeated not, the same :))

Where'er sail'd a ship, or house is built on land, or day or night,
Through teeming cities' streets, indoors or out, factories or farms,
Now, or to come or past—patriot wills existed or exist,
Where'er Freedom, pois'd by Toleration, sway'd by Law,
Stands or is rising thy monument.

ワシントン記念碑、一八八五年 月

ウォルト ホイットマン

あゝ、この死せる冷たい大理石ではなく、——
その臺石と膨大な柱身と——それをとりまく固い地域とからとほく
おんみ、ワシントンは、世界のすべてのものである、ただアメリカばかり

ではなく

全大陸のものである。

ヨーロッパのものでもある、王侯の城や労働者の破屋の中でも、

又凍る北極や炎熱の南洋でも、——アフリカでも、

アラビア人の天幕の中でも。

その廢墟の中にうづくまつて、とほとく微笑んでゐる古きアジアのもので
もある。

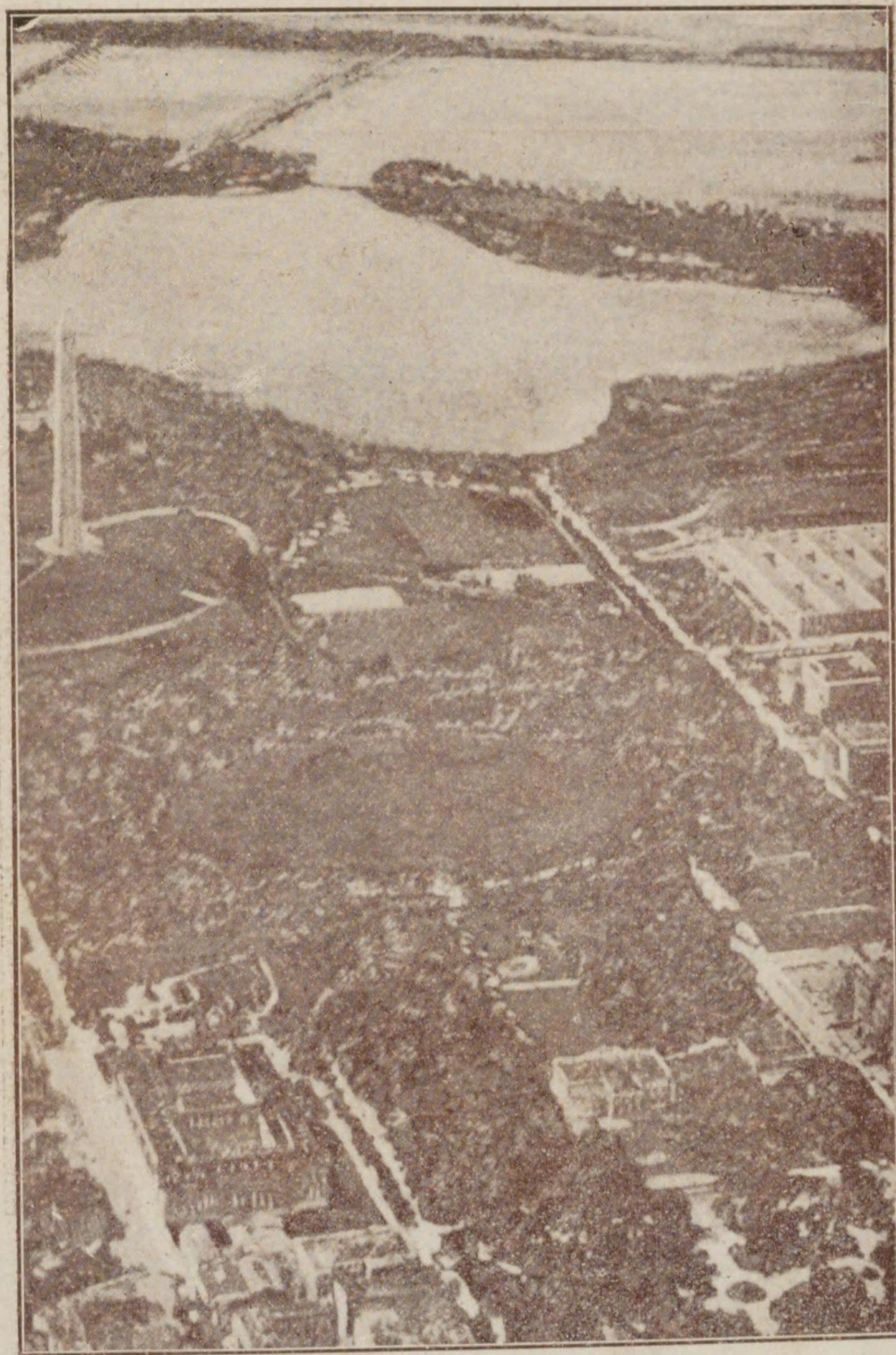
(古き賢者等は新しき英雄に挨拶するだらうか？)

彼等は同族である、——その正しき繼承者は

休みなき心臓と手——斷たれることない證しを、

また同じ、勇氣と、専心と、忍耐と誠實を、

——たとへうち敗られても負けなかつたそれ等を



ワシントン記念碑(左上) ホワイトハウス(右上)

永遠にもちつづけた。

至る所船が走るどこでも家のあるどんな地でも、晝でも夜でも、

多産な町の通りや家の中と外、工場と田野とに

今、またはさきで、或はまへに——愛國の心が在るところに

至る所、寛恕によつて平等にされ、法によつて制せられた

自由が在るところに

おんみの記念碑は建つて居り、また建てられてゐるのだ。

THE UNITED STATES OF AMERICA (U.S.A.)

大陸發見



西曆千四百九十二年八月三日朝、コロンブスは人々の冷笑を省みず、西は向つてスペインのバロス港を發つた。二ヶ月にして陸地に達し、これをサンサルバドル(救主)と名づけた。

新大陸の發見は近代文明の上に曙光を與へた。第一に世界は圓いといふことが實證せられた。

そして歐洲諸國は新寶庫を目がけて移住民を送つた。



アメリカ インディアン (モンタナを訪れる)

獨立戰爭

英國の支配下にあつた米國國民は、英國がその財政を救ふ爲めに植民地に課税したのに反對して、ボストン市に於て始めて獨立の聲が起り、自由の鐘が鳴り亘つた。

遂に英本國と干戈を交へ、一七八三年に巴里にて平和條約を締盟し、全く英國の羈絆を脱して獨立を宣言し列國の承認を得た。

聯邦共和制を布き、一八〇〇年代に領域の統一を計り、現今の一區、四十八州となつた。外にアラスカ、ハワイ、ポルトリコ、フィリッピン、グアム、ツイラ等を領地とし、又パナマ運河地帯を永久租借地とした。

地勢

北米合衆國は、東は太西洋、西は太平洋に面し、南はメキシコ、北はカナダに接してゐる。その面積は四十九萬五千方里(本土のみにて、アラスカ及びハワイを加へると約六百萬方里)である。

中央西部に、ロッキーマウンテン山脈が南北に亘つて聳え、カスケード山脈、シエラネヴァダ山脈が西北太平洋岸を走つてゐる。東部にアパラチア山脈があつて、ニューファウンドランドに連る。

カリフォルニア平地はカスケード山脈とシエラネヴァダ山脈と海岸山脈との間に狭まれてゐる。

ミシシッピ河の流域は太平原をなしてゐる。ミシシッピ河はミズ
ーリ、オハイオ、等の大支流を合せて全長四千二百哩に及びメキシコ灣
に注ぐ。

コロラド河は有名な大峽谷を爲してカリフォルニア灣に出てゐる。コ
ロムビア河はロッキーマウンテンに發源して太平洋に入り、西北隅カナダとの境に
は五大湖シュレーベリアール、ミシガン、ヒューロン、エリー、オンタリオがある。

氣 候

太平洋岸は、日本海流の反應によつて雨量多く、比較的溫暖。中央部は地
域廣大で大陸性氣候である、即ち寒暖の差が大きい、冬は北より寒風が吹き、

夏はメキシコ灣から濕風が北上する。大西洋岸は北方からの寒流の爲めに
寒い。西部内地は雨量少なく、寒暖に大差がある。

住 民

人口九千二百萬、一方里に平均二〇〇〇人に當るが、東北部ではその密度平
均一二〇〇人、西部は一九人である。

そのうち白人、英人最も多く、獨、佛これに次ぐの子孫が蕃殖してゐる。そ
の宗教は新教である。山地にゐる亞米利加印度人は原住民であり、東南部
に多い黒人は奴隸として渡つて來た者の子孫である。日本人、及び支那人
は多く西部に住居してゐる。

自由平等、無階級で、獨立自尊を唱へ、實利實益主義である。世界大戰後ますます黄金萬能の傾向がある。

教 育

大學の數は數百を算へられるが、中でもハーヴァド大學、エール大學、コロムビア大學、シカゴ大學、カリフォルニア大學、ペンシルヴァニア大學、デヨーンズ、ホプキンス大學等が著名である。

女子教育は非常に發達してゐて、ひいては女權尊重といふことが重大視されてゐる。

政 治

任期四年の大統領が行政を統べ、各州には知事があつて自治權力が強い。領地(二地方と呼ばれるアラスカ、ハワイ及びその他)は大統領の任命する總督が之を治めてゐる。

立法は上下兩院による(上院は各州を、下院は人民を代表するものである)。政黨は民主黨、共和黨、進歩黨が鼎立しその間に社會黨、基督教徒黨等がある。

中央政府に直屬するワシントン及びその附近を區と稱してゐる。國是モンロー主義は次第に有名無實となり、歐洲大戰に參與してワシ

トン會議を開くに至り、又近くは四國協商に依て極東へも容喙する迄に變化した。

陸軍は志願兵制度で平時十一萬を擁してゐる。海軍は世界第二位ワシントン會議で英、米、五、日本三の比率決定で軍港はポーツマスである。本年ジュネーヴに開かれる日英米第二軍縮會議は注目されてゐる。

農 業

農業はアメリカの産業の首位で大農法が最も發達してゐる。小麦、玉蜀黍、煙草等は産額世界一で中部の東西に連亘して最も多い。棉花もまた世界一で南部に産しテキサス州が最も盛んである。

今参考に世界主産國の年産額の比較表を摘示する。

小 麥 (單位一萬ブッシェル)(一ブッシェルは我二斗一合強)

合 衆 國	五八七、〇〇〇、〇〇〇
ロ シ ア	五二三、〇〇〇、〇〇〇
イ ン ド	三五一、〇〇〇、〇〇〇
フ ラ ン ス	三一七、〇〇〇、〇〇〇
カ ナ ダ	一九八、〇〇〇、〇〇〇

玉蜀黍 (單位一萬アツシエル)

合衆國 一、九〇〇、〇〇〇

アルゼンチン 一七〇、〇〇〇

イタリヤ 九三、〇〇〇

メキシコ 七九、〇〇〇

イタリヤ 七六、〇〇〇

棉花 (單位一萬ペイル)

合衆國 一四、〇〇〇、〇〇〇

イギリス 四、〇〇〇、〇〇〇

エジプト 一、〇〇〇、〇〇〇

ロシア 一、〇〇〇、〇〇〇

ブラジル 五〇〇、〇〇〇

綿糸 (單位一萬スピンドルオ)

大英國 五五、五七六、〇〇〇

ヨーロッパ(大陸) 四三、四〇〇、〇〇〇

合衆國 三〇、五〇〇、〇〇〇

インド 六、四〇〇、〇〇〇

在留日本人で農業に従事してゐるものは殆んど、テキサス州で米の耕作
 (米は印度日本が主で、米國は第十位にある)をしてゐるものと、カリフォルニ
 ア州で林檎、葡萄、オレンジ等の栽培をしてゐるものである。

牧 畜

牧畜は北部及び西部に盛んで、シカゴの大屠殺場は有名である。

家 畜 (單位 一萬頭)

イ ン 牛 (水牛を含む) 一一八、三一〇、〇〇〇

合 衆 國 六七、八六六、〇〇〇

ロ シ ア 三二、七〇四、〇〇〇

アルゼンチン 二五、八六七、〇〇〇

ド イ ツ 二〇、三一七、〇〇〇

羊 (單位 一萬頭)

オーストラリア 七六、六六九、〇〇〇

合 衆 國 四九、八六三、〇〇〇

アルゼンチン 四三、二二五、〇〇〇

ロシア (アジア) 三八、六九六、〇〇〇

ロシア(ヨーロッパ)

三七、二四〇、〇〇〇

林業、水産

太平洋岸諸州は林業がよく發達してゐる、殊にカリフォルニアの巨樹は有名である。

アラスカ地方は多くの水産物で名があり、又大西洋北部には世界三大漁場の一つがある。主産物は鱈、鮭、海獣等で、蠣は各地に多いがワシントンに近いチェサピーク灣の蠣は珍重される。

鑛産

シユーベリオール湖附近及びアパラチア山脈に殊に多い。西部地方は、金、銀、銅、水銀、鉛、亞鉛等を多く産し、石油はカリフォルニア及びペンシルヴァニアに最も多い。銀、石炭、鐵、石油、銅は共に世界第一である。

金

(單位 一萬ダラー)

アメリカ

一九七、〇〇〇、〇〇〇

カ フ イ ド 合
 ナ ラ ギ イ 衆
 ダ ス ス ツ 國

鐵

(單位 一萬メトリック噸)

三九、六八〇、〇〇〇
 一一、七五八、〇〇〇
 九、一八四、〇〇〇
 一、二九七、〇〇〇
 一、〇八三、〇〇〇

日 オーストラリア
 本

九、六〇〇、〇〇〇
 六、六〇〇、〇〇〇

ベ カ メ 合
 ル ナ キ 衆
 1 ダ コ 國

銀

(單位 一萬オンストロイ)

六七、二〇〇、〇〇〇
 六二、四〇〇、〇〇〇
 二一、六〇〇、〇〇〇
 一〇、八〇〇、〇〇〇

カ メ オ 合
 ナ キ ス 衆
 ダ コ ラ リ ア 國

六九、〇〇〇、〇〇〇
 二九、〇〇〇、〇〇〇
 一七、〇〇〇、〇〇〇
 一五、〇〇〇、〇〇〇

石

炭

(單位 一萬シヨート噸)

日	フ	チ	ポ	イ	ド	合
本	ラ	ェ	ー	ギ	イ	衆
	ン	コ	ラ	リス	ツ	國
	ス	ス	ヴ	ス		
		ラ	ア			
		グ	キ			
		ア	ア			

三〇〇〇〇〇〇	三一〇〇〇〇〇	三三〇〇〇〇〇	六三〇〇〇〇〇	二五五〇〇〇〇	二七四〇〇〇〇	六七八〇〇〇〇
---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

銅

(單位 一千噸)

カ	メ	日	チ	合
ナ	キ		リ	衆
	シ			國
ダ	コ	本	1	

五九〇〇〇	七七〇〇〇	九六〇〇〇	一二六〇〇	九五四〇〇〇
-------	-------	-------	-------	--------

石

油

(單位 一萬バレル)(一バレルは我七斗九升強)

合衆國

三五五、九二七、〇〇〇



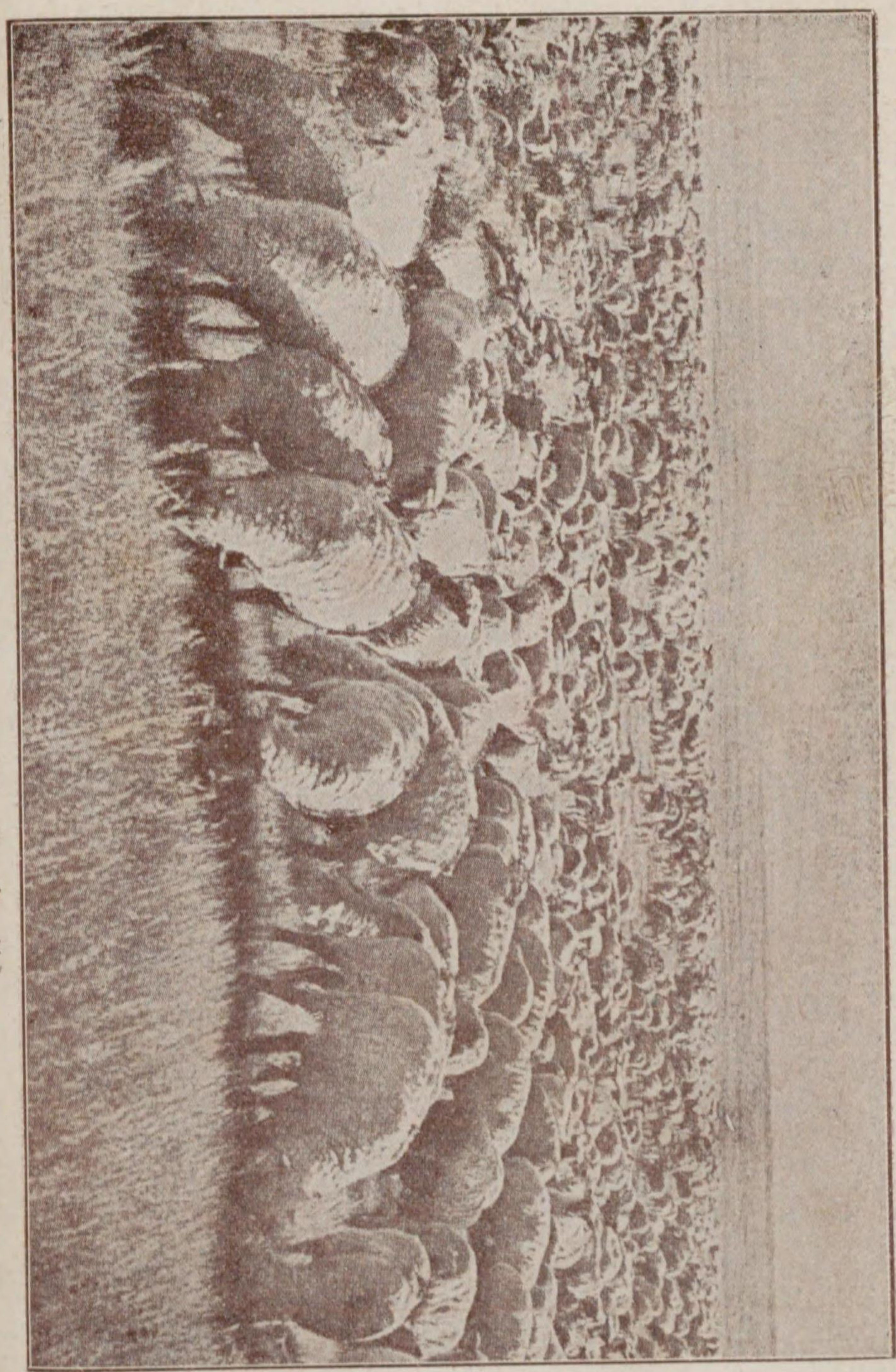
大 農 業

工 業

メ
キ
シ
コ
ア

六三、八二八、〇〇〇
四〇、四五六、〇〇〇

前出の表にみる通り、北米合衆國は、鐵、石炭、石油等が非常に豊富であることが工業を發達させた第一の原因である。なほその工業が世界に覇をと
なへやうとするに至つた原因を數へると、五大湖及びアパラチア山脈地方
の水力電氣、原料品の夥多、資本富裕、教育進歩、運輸至便、政府の保護等である。
主産物は、製鐵、精鍊、絹、綿毛織物、機械、煙草、製粉、罐詰業等で、皮革、麥酒等も亦
多し。



商 業

貿易額は英國に及ばないが、出超額は世界無比である。その主要港は、ニューヨーク、ピラデルフィア、サンフランシスコ、ガルヴェストン等である。

貿易品
輸出——綿、穀物、鐵、石油、銅、木材。
輸入——珈琲、茶、皮革、生絲、染料、藥品。

各都市の綽名

アメリカ人は何にでも好んでニックネームを付ける。各都市にもまた

ニックネームをつけて呼んでゐる。その二三をあげると、

ニューヨーク	メトロポリス、ブッフアロ(水牛)
サンフランシスコ	ゴールデンゲイトシティ
ポートランド	シティオブローズ
ピッツバーグ	アイアンシティ、スモーキングシティ
シアトル	クインシティ
バルチモア	モニユメンタルシティ
ロサンゼルス	メトロポリス、オブウエスト
ミネアポリス	フラワーシティ
フィラデルフィア	シティオブブラザーリー
カンサスシティ	ハートオブアメリカ
	ラブ

大 建 築

合衆國至るところの建物の規模の大きいには驚くがニューヨークでは殊にそれが甚しい。地域が狭いので自然、高層の建物を作ると同時に地下深く何階も作るやうになる。今日迄ニューヨークで一番高い建物ウルウォルスビルディングは五十六階、地上七百五十呎であるが、今度同所に出来るラーキン塔と呼ばれる事務所風の高樓は、高さ一千二百八呎、百十階で、巴里のエッフェル塔よりも二百二十四呎高い。その建築費は三千六百萬圓、土地買収費九百萬圓、一年の貸館料は六百萬圓を下らない豫算と評判されてゐる。

今後まだどんなものが建つか想像も出来ない程である。

鉄 道

全延長二五〇九五哩で、全世界の四割強である。一年の乗客十億、鐵道従業員一七九四、〇〇〇人、機關車六五六〇〇輛と聞いただけで驚歎する。鐵道網の稠密度は東部に密で(八割)、西部に疎である。大陸横斷鐵道で著名なものは左の如きものである。

Great Northern Railway

Northern Pacific R.

Chicago, Milwaukee & St. P. R.

Union Pacific System

(Seattle—Chicago)

New York Central R.

Michigan Central R.

Pennsylvania R.

Baltimore & Ohio R.

(Chicago—New York)

Southern Pacific R. (Sunset Route)

(San Francisco—New York)

San Francisco—Overland Route (San Francisco—Chicago)
 The Santa Fe System (San Francisco—Chicago)
 The Western Pacific R. (San Francisco—Chicago)

航 海

商船の噸數は英國に次いで八百萬噸で、歐洲各國との間は三萬噸級の巨船をはじめその交通は頻繁である。現今まで内陸及び沿岸に多く用ひられて、外航は全體の一割半に過ぎなかつたが近時船舶の過多に困じ、外洋に雄飛しやうとしてゐる。

最近ニューヨークよりパリー及びローマ迄、太平洋無着水横斷飛行が成

イ	ン	ド	四、〇〇〇、〇〇〇
エ	ヂ	ブ	一、五〇〇、〇〇〇
ロ	シ	ア	一、〇〇〇、〇〇〇
プ	ラ	ジ	五〇〇、〇〇〇

綿 絲 (單位 一萬スピンドルオ)

大	英	國	五五、五七六、〇〇〇			
ヨ	ー	ロ	ッ	バ	(大陸)	四三、四〇〇、〇〇〇
合	衆	國	三〇、五〇〇、〇〇〇			
イ	ン	ド	六、四〇〇、〇〇〇			

在留日本人で農業に従事してゐるものは殆んど、テキサス州で米の耕作
 (米は印度日本が主で、米國は第十位にある)をしてゐるものと、カリフォルニ
 ア州で林檎、葡萄、オレンジ等の栽培をしてゐるものである。

牧 畜

牧畜は北部及び西部に盛んで、シカゴの大屠殺場は有名である。

家 畜 (單位 一萬頭)

イ ン ド (水牛を含む) 一二八、三一〇、〇〇〇

合 衆 國	六七、八六六、〇〇〇
ロ シ ア	三二、七〇四、〇〇〇
ア ルゼンチン	二五、八六七、〇〇〇
ド イ ツ	二〇、三一七、〇〇〇

羊 (單位 一萬頭)

オーストラリア	七六、六六九、〇〇〇
合 衆 國	四九、八六三、〇〇〇
ア ルゼンチン	四三、二二五、〇〇〇
ロシヤ (アジア)	三八、六九六、〇〇〇

ロシア(ヨーロッパ)

三七、二四〇、〇〇〇

林業、水産

太平洋岸諸州は林業がよく發達してゐる、殊にカリフォルニアの巨樹は有名である。

アラスカ地方は多くの水産物で名があり、又大西洋北部には世界三大漁場の一つがある。主産物は鱈、鮭、海獣等で、蠣は各地に多いがワシントンに近いチェサピーク灣の蠣は珍重される。

鑛産

シユーペリオール湖附近及びアパラチア山脈に殊に多い。西部地方は、金、銀、銅、水銀、鉛、亞鉛等を多く産し、石油はカリフォルニア及びベンシルヴァニアに最も多い。銀、石炭、鐵、石油、銅は共に世界第一である。

金

(單位 一萬ダラー)

アメリカ

一九七、〇〇〇、〇〇〇

合衆國
ドイッ
イギリス
フランス
カナダ

三九、六八〇、〇〇〇
一一、七五八、〇〇〇
九、一八四、〇〇〇
一、二九七、〇〇〇
一、〇八三、〇〇〇

鐵

(單位 一萬メトリック噸)

オーストラリア
日本

九、六〇〇、〇〇〇
六、六〇〇、〇〇〇

合衆國
メキシコ
カナダ
ベネズエラ

六七、二〇〇、〇〇〇
六二、四〇〇、〇〇〇
二一、六〇〇、〇〇〇
一〇、八〇〇、〇〇〇

銀

(單位 一萬オンストロイ)

合衆國
オーストラリア
メキシコ
カナダ

六九、〇〇〇、〇〇〇
二九、〇〇〇、〇〇〇
一七、〇〇〇、〇〇〇
一五、〇〇〇、〇〇〇

石

炭

(單位 一萬ショート噸)

合衆國	六七八、〇〇〇、〇〇〇
ドイツ	二七四、〇〇〇、〇〇〇
イギリス	二五五、〇〇〇、〇〇〇
ポーランド	六三、〇〇〇、〇〇〇
チェコスラヴァキア	三三、〇〇〇、〇〇〇
フランス	三一、〇〇〇、〇〇〇
日本	三〇、〇〇〇、〇〇〇

銅

(單位 一千噸)

合衆國	九五四、〇〇〇
チリ	一二六、〇〇〇
日本	九六、〇〇〇
メキシコ	七七、〇〇〇
カナダ	五九、〇〇〇

石

油

(單位 一萬バレル)(一バレルは我七斗九升強)

合衆國

三五五、九二七、〇〇〇



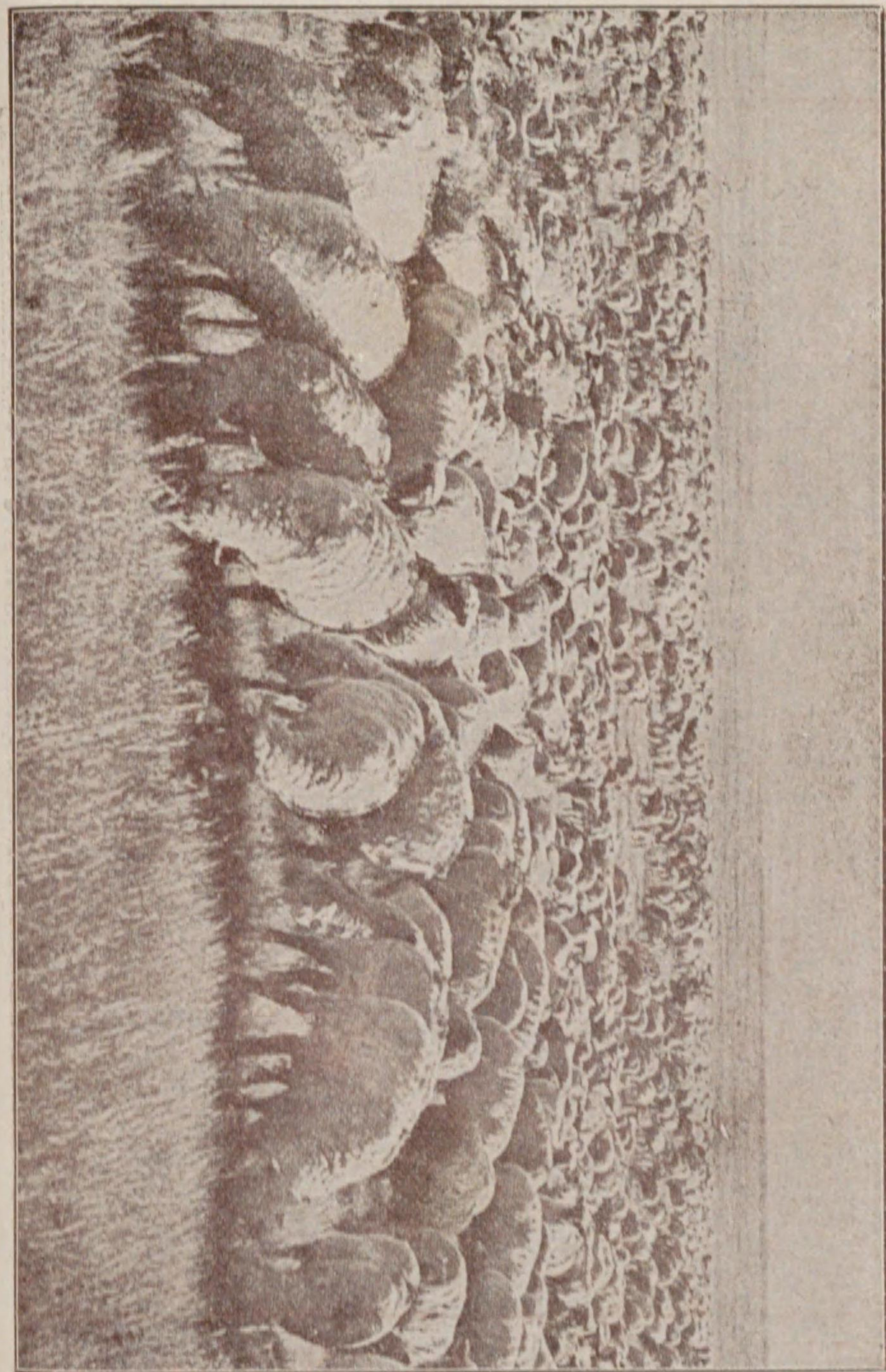
大 農 業

前出の表にみる通り、北米合衆國は、鐵、石炭、石油等が非常に豊富であることが工業を發達させた第一の原因である。なほその工業が世界に覇をとるなへやうとするに至つた原因を數へると、五大湖及びアパラチア山脈地方の水力電氣、原料品の夥多、資本富裕、教育進歩、運輸至便、政府の保護等である。主産物は、製鐵、精鍊、絹、綿毛織物、機械、煙草、製粉、罐詰業等で、皮革、麥酒等も亦多し。

工 業

メ
キ
ン
シ
コ
ア

六三、八二八、〇〇〇
四〇、四五六、〇〇〇



大 阪 商 業 繁 栄 景 況 (大正十一年)

商 業

貿易額は英國に及ばないが、出超額は世界無比である。その主要港は、ニューヨーク、フィラデルフィア、サンフランシスコ、ガルヴェストン等である。

貿易品
 輸出——綿、穀物、鐵、石油、銅、木材。
 輸入——珈琲、茶、皮革、生絲、染料、藥品。

各都市の綽名

アメリカ人は何にでも好んでニックネームを付ける。各都市にもまた

ニックネームをつけて呼んでゐる。その二三をあげると、

ニューヨーク	メトロポリス、ブッフアロ(水牛)
サンフランシスコ	ゴールデンゲイトシティ
ポートルランド	シティオブローズ
ピッツバーグ	アイアンシティ、スモーキングシティ
シアトル	クインシティ
バルチモア	モニュメンタルシティ
ロサンゼルス	メトロポリス、オブウエスト
ミネアポリス	フラワーシティ
フィラデルフィア	シティオブブラザリー
カンサスシティ	ハートオブアメリカ
	ラプ

大 建 築

合衆國至るところの建物の規模の大きいには驚くがニューヨークでは殊にそれが甚しい。地域が狭いので自然、高層の建物を作ると同時に地下深く何階も作るやうになる。今日迄ニューヨークで一番高い建物ウルウォルスビルディングは五十六階、地上七百五十呎であるが、今度同所に出来るラーキン塔と呼ばれる事務所風の高樓は、高さ一千二百八呎、百十階で、巴里のエッフェル塔よりも二百二十四呎高い。その建築費は三千六百萬圓、土地買収費九百萬圓、一年の貸館料は六百萬圓を下らない豫算と評判されてゐる。

今後まだどんなものが建つか想像も出来ない程である。

鉄 道

全延長二五〇九五哩で、全世界の四割強である。一年の乗客十億、鐵道従業員一七九四、〇〇〇人、機關車六五六〇〇輛と聞いただけで驚歎する。鐵道網の稠密度は東部に密で(八割)、西部に疎である。大陸横斷鐵道で著名なものは左の如きものである。

Great Northern Railway

Northern Pacific R.

Chicago, Milwaukee & St. P. R.

Union Pacific System

{ (Seattle—Chicago)

New York Central R.

Michigan Central R.

Pennsylvania R.

Baltimore & Ohio R.

} (Chicago—New York)

Southern Pacific R. (Sunset Route)

(San Francisco—New York)

San Francisco—Overland Route (San Francisco—Chicago)
The Santa Fe System (San Francisco—Chicago)
The Western Pacific R. (San Francisco—Chicago)

航 海

商船の噸數は英國に次いで八百萬噸で、歐洲各國との間は三萬噸級の巨船をはじめその交通は頻繁である。現今まで内陸及び沿岸に多く用ひられて、外航は全體の一割半に過ぎなかつたが近時船舶の過多に困じ、外洋に雄飛しやうとしてゐる。

最近ニューヨークよりパリー及びローマ迄、大西洋無着水横斷飛行が成

功するに至つて益々、兩大陸の接近を感じしめられる。又ハワイまでの無着水飛行が計畫されてゐる程であるから、太平洋も征服されるのは遠くないことであらう。



第五通 公共圖書館前 (ニユ-ヨ-ク)



ロッキーマウンテンの雄姿

生けるアメリカ

アメリカ精神

アメリカ合衆國は世界第一主義を標榜してゐる。アメリカと云へばすぐ金のありあまる國、活動寫眞の國、スポーツの國、賭事の國が頭に浮ぶ。しかし、ダンスや安喜劇で夢中になつてゐるアメリカが眞のアメリカではない。眞のアメリカはワシントンやリンカーンの精神によつて生きてゐるものである。眞の民衆は酔つばらつてはゐない。宏大な自然と、調和的な氣候とに恵まれたアメリカは若き夢をもつてゐる。

る。エマーソンやホイットマンやソローの國である。

彼等の魂が今生きてゐるだらうか。それは窒息させられさうになつてゐる。だが在る、確かに在る。近代生活の重壓な殻をやぶらうとしてたたくつてゐる自由なる魂の中に。昔ながらの一木一石の中に。眞のアメリカ精神はいたるところに見えずにある。

踊り狂つてゐるアメリカではなしに、本當に生々して、勇躍にもえてゐるアメリカを、思ひがけないところで、君達日本の友等が見つけ手を握ることが出来れば、人類の友愛をそれだけ救ふことになるのだ。

文献

左に書名を掲げる書籍は、アメリカが生んだ最もすぐれた文化記録であ

る。少しく學究的なものもあるが、アメリカ精神を理解する上に参考となるので、その二三を読む機会を持たればよいと思ふ。

手記、評論

Henry David Thoreau.

Walden.

(1817—1862)

Political Essays.

Walt Whitman

Democratic Vistas.

Specimen Days.

An American Primer

Horace Trumbull (1858)

With Walt Whitman in Camden.

Mark Twain

Life on the Mississippi.

- The Education of Henry Adams.*
The Book of Daniel Drew.
 Hamlin Garland (1860) *A son of the Middle Border.*
 Theodore Dreiser *A Hoosier Holiday.*
Twelve Men.
 John Macy (1877) *The Spirit of American Literature.*
 Amy Lowell *Tendencies in modern American Poetry.*
 Louis Untermeyer *The New Era in American Poetry.*
 (1885)
 Henry L. Mencken (1880) *The American Language.*
 Thorstein Veblen *A Theory of the Leisure classes*

- The Higher Learning In America:*
A Memorandum on the Conduct of
Universities by Business Men.
 Untimely Papers.
 Randolph Bourne
 (1886—1918) *Non—Political Papers.*
 Van Wyck Brooks *American Coming of Age.*
 (1856) *Letters and Leadership.*

小説

- Mark Twain *Tom Sawyer.*
 Huckleberry Finn

	<i>The Mysterious Stranger.</i>
Edward Eggeston	<i>A Hoosier Schoolmaster.</i>
Edgar Watson Howe	<i>The Solry of a Country Town.</i>
Stephen Crane	<i>The Red Badge of Courage.</i>
Frank Norris	<i>Mc Teague.</i>
	<i>The Octopus.</i>
	<i>Vandover and the Brute.</i>
Theodore Dreiser	<i>Sister Carrie.</i>
Willia Sibert Cather	<i>My Antonia.</i>
Sherwood Anderson	<i>Windy Mc Pherson's Son.</i>

戲曲

Theodore Dreiser	<i>Plays of the Natural and the Supernatural.</i>
	<i>The Hand of the Potter.</i>

詩

Walt Whitman	<i>Leaves of grass.</i>
--------------	-------------------------

日本とアメリカ

渺茫たる太平洋をへだてて向ふ側の岸にアメリカといふ國があることを、はじめ日本人は知らなかつた。美しい島國は夢にふけてゐた。

嘉永年間に、黒船が來た！

喧々囂々たる議論が沸騰した。鎖國か開港か？ 黒船の正體は恐るゝに足らなかつた。しかしその時彼に後れてゐるといふ事實は被へなかつた。それが先覺者達を發奮させた。そして終に日本は現在の日本となつた。アメリカと日本との間が近づ



フロリダ洲のザボン

けられた。彼の國にあるものは日本へ送り(棉、石油、鐵類、小麦粉等)日本からは生絲や絹布、茶、真田、花筵、陶磁器等を輸出する。

また彼の地に渡つてはたらいてゐる同胞の數は二十萬に達してゐる。彼等の懸命な努力は條文的な外交より力強い。

しかし、たまたま、一八八七年にカリフォルニア州の知事候補に立つた者が一時的喝采を博さんが爲めに日本人排斥の詭辯を弄したのに端を發して、その間幾多の親日家の思慮ある証議があつたにも拘らず、日本人は歩合移民たるの権利をもつことが出来ないに至つた。人種的偏見、政治的偽瞞によつて排日問題が、善き日本人を苦境にたたしめるのは慨歎にたへない。かかる國家的狂信徒は、日本から移し植えてアメリカの公園に美しく開いてゐる櫻の花をなんと見るであらう。大地はつねに寛大である。

日本の友等よ、君達は新しく選ばれてゐる。



巨材の運搬

北米入國法

新移民法の制定

米國合衆國は曩に我が國との間に締結したかの紳士協約(ジェンツルマンス アグリイメント)をなほ足らずとして嚴重な移民法を實施するやうになつた。該案は米國上下兩院を通過して大統領クリッヂが署名した。それは一九二四年七月一日以後現行されてゐるものである。併し、通過客又は觀光その他の目的を以て渡米するものに對しては多くの便宜が與へられてゐる。

移民法規則の内容

現行の移民規則は、一九一七年及び一九二四年發布の兩移民法を主として、その前後に制定された數多の諸法規がこれに附屬して實施されてゐる。合衆國に入國する外國人を移民と非移民とに大別し、更に移民を歩合移民 (Quota immigrant) と非歩合移民 (Non-quota immigrant) とに區別してゐる。これによつて入國者を制限せんとするのである。

歩合移民制度とは一八九〇年に合衆國大陸内に居住してゐた各外國人數の百分の二を以て、其各外國人の一箇年の最大入國許可數と定めたものである。ところが日本人は一九二四年移民法第十三條C項の規定によつ

て歩合移民から除外せられた。即ち日本人は歸化不能外國人の故を以て (米國歸化法は白色人種と黒人との外に歸化權を認めない) 他國同様の歩合を適用することが許されない。随つて日本人にて入國し得るものは次項の所謂非移民か非歩合移民に屬するもののみである。

合衆國に入國し得る者

非移民に屬するもの

- (一) 政府の官吏並に其の家族、從者、僕婢及び雇人。
- (二) 一時的に旅行者として、又は一時的に用務若しくは觀光の爲めに渡米

する者。

右一時的旅行者の滞米期間は六箇月を原則として制定されてゐるが、相當の理由ある場合には労働省の許可を得たる上これを延長することが出来る。

(三) 継続的に合衆國を通過する者。例へば米國經由渡歐する様な場合でその滞米期間は三十日間。

(四) 法規に適ひ合衆國に入國を許可せられた後、合衆國の一地方より接壤外國領土を通過して合衆國の他の一地方に赴く者。例へばシアトルに上陸して、鐵路加奈陀を經由して紐育に行く様な場合で、滞米期間は始めに入米した時の條件が六箇月であれば、後に入國した時に加算して併せて六箇月とする。

五) 合衆國の港に到着する船舶の乗組員で、單にその職務の爲めに一時的上陸する者。

(六) 現行通商航海條約に準據して、單に商業を營む目的のみを以て入國する者。

これは通商に關する事務を行ふものといふ意味であつて米國內で營利商業を營むものは渡米することが出来ないが、貿易商なれば資本の大小を問はず入國を許され、新聞通信員會社員及び個人商店員もこの項目によつて入國が出来る。

尙ほこの貿易商及び會社員の妻子は前掲(二)の一時的旅行者として入米が出来、且つその滞米期間も新らしき手續により、夫又は親が貿易商又は會社員として滞在してゐる間は滞在することが出来る。

非歩合移民に屬するもの

(一) 合衆國入國出願直前少くとも二箇年間引續き、いづれの宗派たるを問はず、布教師の職に在つた者。又は大學校、專門學校、宗教學校又は綜合大學教授の職に在つた者で、單に其の職に従事する目的を以て入國せんとする移民。竝にその同伴又は呼び寄せたる妻、及び十八歳未満の未婚の子。

(二) 十五歳以上の善意の學生で、公認されたる學校、大學校、專門學校、宗教學校、又は綜合大學に於て勉強する爲めにのみ入米せんとする移民。
右學校は勞動長官の公認の學校に限られてゐるが、米國で有名な學校

は大抵この認可を得てゐる。

日本より學生として渡米せんとする者は、日本出發以前に入學と決定した學校が如上の認可を得てゐるや否やを米國領事館で取調べて、日本にゐる間に、入學許可證を取り寄せた上、米國領事館で非歩合移民査證を貰ひ受けねばならない。

營利事業若しくは雇傭労働に従事するものは逮捕の上直ちに追放すと規定されてゐるが、これは悪意の學生を防止する爲めの規定であつて、夏期休暇を利用して労働する等のことは差支へはない。

(三) 適法に入米を許可された移民で一時外國に赴いた後歸米する者。この再渡航者といふのは曾て米國に合法に入國した者である事、語に間もなく歸米する意志で、一時日本或は他の外國に滞在することが十分に證明出来れば容易に歸米することが右の検査の嚴重な

意志で米國から日本へ歸らうとする者は、再入國許可を労働省から貰つて置くと安全で、再渡航の場合に検査済む。この許可證があれば旅券も査證も必要がないことになつてゐる。そして有効期間は一箇年であるが、必要な場合には六箇月宛一回又は數回延期を許される。(然し萬一の場合を慮つて旅券を持つてゐるのが安全である)又これ等の在留民は以前の紳士協約の下では、日本から親や妻子を呼び寄せることが出来たが、一九二四年の新移民法によつて、その親や妻子が初渡米者であれば非移民の第二項即ち一時的旅行者として六箇月を限り呼び寄せるより他に途がないのである。

入國を禁止されてゐる者(及び野菜類)

一九一七年移民法第三條は次の各項に該當する外國人の北米合衆國に入國することを絶対に禁止してゐる。

白痴、精神病者、癲癇病者、慢性酒精中毒者、貧困者、乞丐、各種の結核患者、傳染病患者、重罪を犯したる者、多妻者、無政府主義者、醜業婦、醜業に關係ある者、契約労働者(但し俳優、美術家、講演者、聲樂師、看護婦、僧侶、教授等を除く)及び讀書能力を具へたる十六歳以上の外國人にして英語又は或る他の言語又は方言を讀む能はざる者、等。

尙ほ日本よりの渡航にて十二指腸蟲、トラホーム等の患者の検査の嚴重な

ことは別項にも書くが、布哇にある種々の珍奇美味な果物及び野菜を(植物検査法によつて許可されてゐるバナ、パイナップル等の數種の外のものは)米國本土へ移入することを禁止されてゐる。これ等のものも航海中ホノルルで船に持ち込むことは差支へないが米國本土領海に入る前に全部残らず處分しなければならぬ。バナ、パイナップル等も移入の目的で船積する時には豫め害虫 Mediterranean fruit fly 又は melon fly が附着してゐない證明書を受けなければならぬ。又日本及び支那産の柑橘類を米國に輸入する時は植物検査を受ける必要がある。

携帶金に就いて

旅客各自の目的及び範圍に従つて相當の金額を準備しなければならぬのは勿論であるが、北米合衆國及び加奈陀へ渡航するものは所謂「見せ金」と稱して米金五十弗(邦貨約百圓)以上を携帶しなければならぬ。即ちこれは最少提示額である。これは三等客ばかりではなく各等客について検査される制規である。

旅行中大金を現金で持つて歩くのは不便並に不用心であるから、正金銀行その他、外國に支店又は代理店のある確實な銀行の信用狀に取組んで持参してゐて、上陸の後必要に応じて現金を引出すのが安全である。然し上

陸後早速に使ふ小金を米貨で用意して置くことを忘れてはならぬ。

北米入國税 (Head Tax)

一九一七年移民法第二條に依り、合衆國渡航者はその乗船等級の差別に拘らず一人に付米貨八弗(邦貨約十六圓)を入國税として支拂はねばならぬ。但し父又は母に同伴せられる年齢十六歳以下の者、又政府派遣の官吏及び合衆國の國賓等は之を免除される。この入國税は便宜上汽船會社が乗船賃と共に受取り、米國政府へ納付してゐる。

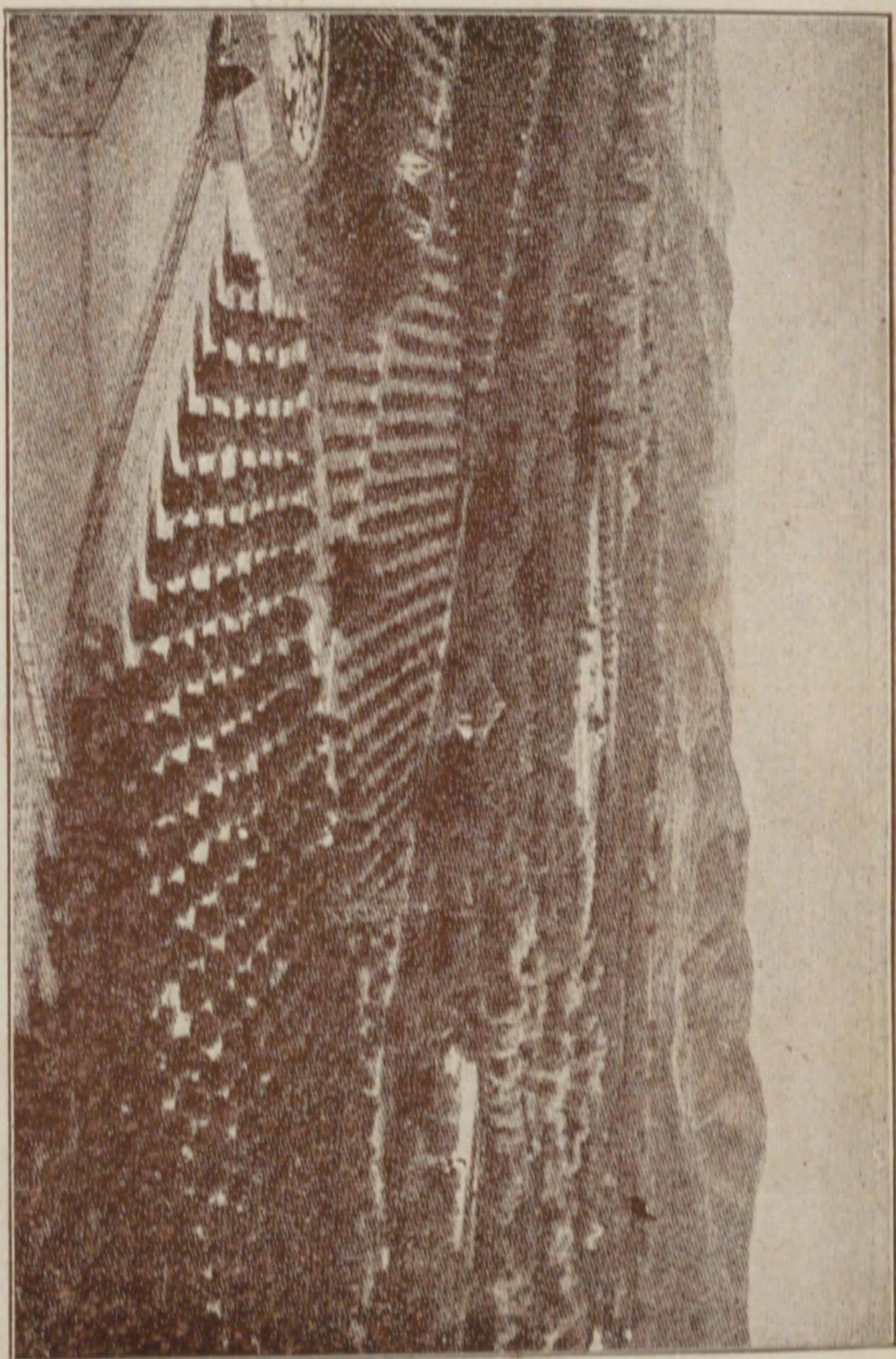
又この入國税は一旦納付しても、合衆國を通過して六十日以内に外國へ赴く(例へば歐洲行き通し客の如き)ものは、その拂戻を請求することが出來

る。但しこの請求は入國後百二十日以内にせねば無効である。

上陸地の移民官にその旅行豫定を告げ、入國税領收證を提示して、入國税拂書證戻(Head tax refund Certificate Form 514)を受取つて置いて、米國を出國する時乗る船で之等と引替へに入國税の拂戻を受けるのである。若し船内で拂戻を受け得ない場合は、上記の拂戻證明書に事務長の署名を求め且つ自署して入國税受取證と共に乗用船の會社に差出せば即座に拂戻を受けるか米國政府へ拂戻の手續をして呉れる。

讀書試験

米國へ上陸の際、讀書試験がある。試験は尋常五年以下の程度で試験カ



カリフォルニアの園藝場

以下に記されてゐる文字の命ずることを動作に現はすのである。
再入國者、通過客、幼年者は試験しない。なほ次のものも免除される。

- (一) 呼寄せの父及び祖父にして五十五歳以上の者。
- (二) 呼寄せの妻、母、祖母、未婚の娘若しくは寡婦となれる娘。
- (三) 引續き五年以上の在米者にして米國出發後六箇月以内に再渡航する者。



棗 棕 櫚 (カリフォルニア州)

必要な手續

一 旅 券

先づ第一に必ず用意しなければならないのは海外旅券である。旅券を得るには、旅券下附願に戸籍謄本(三箇月以内のもの)一通及び寫眞二葉半身手札形、臺紙なしを添へて、最寄の地方官廳を経て外務省に申請するのである。その願書の書式は一定して居ないから各所屬の府縣廳に直接照會すべきである。そして旅券が下附になれば旅券領收證に所定金額の收入印

紙(五圓)を貼付して請書を差出すのである。(有効なる再入國許可證を持つてゐる者は必ずしも旅券携帯を必要としないといふ原則であることは前にも述べた通りであるがこの許可證は再渡米の際移民局に回収されるので旅券なしに渡米した者は再渡米の證據を失つたやうな疑念を持つことがある。その他種々の點から旅券を貰つて居ればなほ安心である。)

旅券の有効期間は下附當日より六箇月であります。若しもこの期間を過ぎて渡航せんとする場合には新たに申請をしなければならぬ。

二 査 證

渡米者は米國領事の査證を受けなければならぬ。査證に二種類あつ

て六種の非移民は旅券査證(Passport Visa)を、又三種の非歩合移民は移民査證(Immigration Visa)を受けるのである。旅券査證は旅券に裏書するので有効期限は一箇年、手数料を要しなす。

移民査證を受けるには、米國領事から移民査證下附願二通を貰つてこれに必要事項を記入し、手数料金十弗、旅券、寫眞二葉、戶籍謄本二通、及び入學許可證、教會、學校の辭令等を添へて領事に提出し、領事の面前で願書に自署宣誓するのである。領事は願書の一通に査證を施しこれを移民査證として交附する。移民査證の有効期限は四箇月。しかしその期限滿了以前に日本の港を出發して米國に直航する場合は着米前に期限が過ぎても差支へない。

又親が移民査證を受けた後で生れた子供は何等の書類なしに同伴入米することを許されてゐる。

査證は凡て旅券下附地管轄の米國領事から受けなければならぬ。その管轄區域は左の通りである。

東京駐在米國總領事管轄地

東京府	埼玉縣	栃木縣	福島縣
宮城縣	岩手縣	青森縣	秋田縣
山形縣	群馬縣	茨城縣	山梨縣
新潟縣	千葉縣	北海道	樺太

横濱駐在米國領事管轄地

神奈川縣、靜岡縣

名古屋駐在米國領事管轄地

愛知縣、三重縣、岐阜縣、滋賀縣
福井縣、石川縣、富山縣、長野縣

神戶駐在米國領事管轄地

京都府、大阪府、兵庫縣、岡山縣

廣島縣、島根縣、鳥取縣、和歌山縣

奈良縣、香川縣、德島縣、高知縣

愛媛縣

長崎駐在米國領事管轄地

長崎縣、佐賀縣、福岡縣、熊本縣

鹿兒島縣、宮崎縣、大分縣、山口縣

沖繩縣

大連駐在米國領事管轄地

關東都督府管下一圓

京城駐在米國領事管轄地

朝鮮總督府管下一圓

臺北駐在米國領事管轄地

臺灣總督府管下一圓

三 健康證明

合衆國到着港の檢疫は非常に嚴重であつて、特に十二指腸蟲、蛔蟲、片山病等の患者及びトラホーム患者は絶対に入國を許されない。

二等及び三等船容は乗船地所轄縣廳の技師によつて檢眼及び十二指腸蟲検査を受けなければならぬ。これは出帆數日前(通例三日又は四日前)に行はれるので成る可く検査施行前日迄に乗船地へ行つて準備しておくのが便利である。一等船客も、トラホーム及十二指腸蟲患者で無いといふ證明書を最寄の醫師から貰つて持つてゐなければならぬ。この證明書は日本文で差支へない。所轄縣廳では檢眼に合格したもののだけに十二

指腸蟲の検査をする。

右の外に最近の種痘證明書が時として米國檢疫官から要求されることがある。

以上は渡航資格を考へると同時にどうしても經なければならぬ手續である。

衣類及び携帶品

米國太平洋沿岸地方では禮服は殆んど着用しない。殊にフロックコートは教師、宣教師、又は醫師に限られてゐる位である。それで特に禮服の必要がある人は別として、普通は背廣服に中折帽である。ただ船中やホテル

その他で夕食の時など、スモークキング ジャケット(タキシード)を着ける場合がある。船内や鐵道旅行中には烏打帽やバジャマの様な身輕なのがよい。

米國稅關規則に依つて、衣服類、櫛、刷毛、石鹼等の化粧用品、ピン、珠玉その他の寶石類、ステッキ、双眼鏡、喫煙具、樂器、寫眞機、毛布、肩掛、玩具、靴その他旅行用品他人の爲めに携帶又は販賣の目的でないものはすべて無稅で通關することが出来る。

ホノルルでは夏衣が要る。そしてホノルルに寄港せぬ北方航路では七月頃でも冬着の用意が必要である。

貨物及び手荷物

左記の物品は手荷物として取扱はなす。

- 一、家具、商品。
- 二、蓆包、菰包、箱物。
- 三、寶玉類、金銀、有價證券、美術品の如き貴重品。
- 四、危險物、爆發物、活動フィルム等。

船中手荷物は左の制限量までは無貨輸送である。

- 一等 四十立方尺又は三百五十封度。

- 二等 三十立方尺又は二百五十封度。
- 三等 二十立方尺又は百五十封度。

この制限量を超過する時は、日本北米間一立方尺又は十封度につき一圓である。

手荷物には汽船會社の Label (荷札) を付けなければならない。このレイベルには三種類ある。

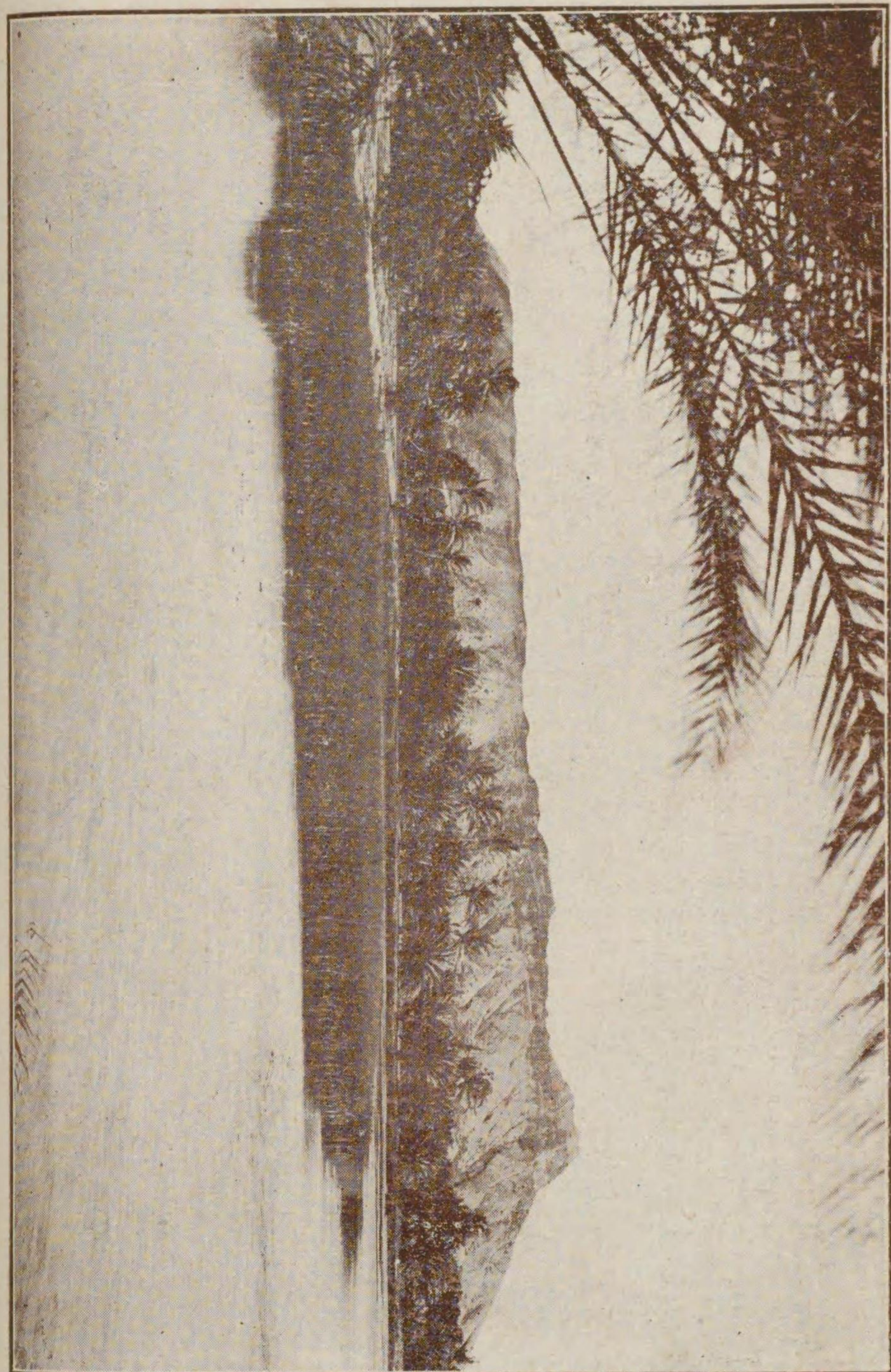
- 船室に持込む手荷物には
State Room
- 船室に持ち込めないもの大形のトランク等で
Wanted
- 航海中に入用なのは
Not Wanted
- 航海中に入用ない分は
Not Wanted

なほ小形鞆、小包類の爲めには絲でしぼるタグ (Tag) がある。レイベル

及びタグに氏名、船名、船室番號、乗船地、上陸地等を記入するのである。



楽園ハワイ



太平洋横断航海

日本船

萬延元年(西曆一八六〇年)初めて太平洋を横断して日米間を往復した日本の船は咸臨丸である。これは米艦ポーハタン號に便乗して米國に派遣された徳川幕府の遣外使節新見豊前守一行の海路警衛と航海練習の爲めに敢行したのである。正月十九日に浦賀を發し、二月二十六日サンフランシスコに到着、閏三月十九日同港を發して布哇經由、五月五日浦賀に歸着

した。軍艦奉行威臨丸司令官木村攝津守は、今度仕出さんとする船は百馬力の捻仕掛蒸汽船にして威臨丸と名づく三年前和蘭政府より買入れし處なり此航海は吾國未曾有の大業なれば乗組を精撰すること最緊要也：と紀行文に書いてゐる。又その乗組員福澤諭吉は「日本の人が始めて蒸汽船を見たのは嘉永六年航海を學び始めたのは安政二年、その業成て外國に船を乗出さうと云ふことを決したのは安政六年の冬即ち眼に蒸汽船を見てから足掛け七年目航海術の練習を始めてから五年目にして萬延元年の正月に出帆しやうといふ時少しも他人の手を藉らずに出かけて行かうと決斷したその勇氣と云ひ其技倆と云ひ是れだけは日本國の名譽として世界に誇るに足るべき事實だらうと思ふ……」と自傳に書いてゐる。これ等はよくその當時の人々の決心と意氣とを示してゐる。

その後六十餘年の今日、二萬噸級の汽船にて二週間にして北米に渡ること

とが出来たるやうになつたことを思ふと、先覺者の恩澤の深きものがあると同時に、短時日の間に長足の進歩をしてゐることが解る。今試みに大洋丸の設備をみてみるに左の通りである。

一等船客室	一四七室	三四四人
二等船客室	二八室	一〇二人
乙二等室	二九室	一二〇人
三等客總數		四二六人
乗組員總數		二一二人

A 甲板 船橋、庭園、書簡室、圖書室、游泳場、運動室、無線電信局、甲板部士官室。

B 甲板 婦人室、喫煙室、子供部屋、暗室、酒保。

142
294

- C 甲板 一等食堂、事務長室、司厨長室、一等客室二百號以上。
- D 甲板 診察室、藥局、病室、特別室、一等客室、百號以上、二等食堂、同喫煙室、同婦人室、乙二等食堂、三等賣店。
- E 甲板 事務室、案内所、理髮所、手荷物庫、郵便局、一等客室一號以上、二等客室、乙二等客室、次席一等運轉士室、機關部士官室、事務員室、司厨室。
- F 甲板 三等客室。

以上のことを考へても、實に日本は海の日本であり、世界の日本である目覺しい途上にあると思ふ。

日本郵船會社シヤトル航路

北方航路といはれてゐるもので、横濱を出帆して北東に進み、アリユーション群島に沿つて東航し、英領カナダのヅキトリア港を経て北米シヤトル港に達するのである。航海日數十三、四日。その定期使用客船は左の四艘である。

静岡丸	總噸數 六、二七〇噸
横濱丸	總噸數 六、一四三噸
	排水噸數 一二、五二〇噸
	排水噸數 一二、三三〇噸

伊 豫 丸
加 賀 丸

總噸數 五、九六二噸
排水噸數 一、二、三七〇噸
總噸數 五、八六〇噸
排水噸數 一、二、三五〇噸

シヤトル航路

一等船客運賃

間	横濱	神戸	長崎	上海	香港 馬尼刺
ウイクトリア ヴァンクーパー シヤトル マル	一九五米弗	二〇五米弗	二二〇米弗	二四〇米弗	二六〇米弗

三等船客運賃

間	横濱	神戸	長崎	上海	香港 馬尼刺
ウイクトリア ヴァンクーパー シヤトル マル	一一五圓	一一九圓	一二三圓	一三〇圓	一三〇圓
復航	五五米弗	五五米弗	五五米弗	五五米弗	五五米弗

これは、一等と三等との二級制である。尙ほヴァンクーパー行はウイクトリアで汽船に接続、タコマ行はシヤトルで汽車に接続する。

小兒運賃

二歳未満大人定額運賃の一割額、二歳以上十歳未満は半額。

日本郵船サンフランシスコ航路

横濱出帆後東南に走ること九日にしてホノルルに達する。更に東北に向つて約五日間でサンフランシスコに到着する。これはもとの東洋汽船會社が經營してゐたのであるが大正十五年より郵船會社に合同したのである。

定期使用客船

大洋丸

總噸數 一四、四五七噸
排水噸數 二一、九五〇噸

天洋丸
春洋丸
これや丸
さいべりや丸

總噸數 一三、四〇一噸
排水噸數 二一、六八〇噸
總噸數 一三、〇三九噸
排水噸數 二一、六二〇噸
總噸數 一一、八〇九噸
排水噸數 一九、八八〇噸
總噸數 一一、七九〇噸
排水噸數 一九、七八〇噸

ホノルル行乗船賃

船名	等級	(自)	横濱	神戸	長崎	上海	香港
—	一等		二二六米弗	二三七米弗	二五七米弗	二六九米弗	三〇〇米弗
	二等		一三三米弗	一三九米弗	一四九米弗	一六〇米弗	一七五米弗

サンフランシスコ行乗船賃

船名	等級	自	横濱	神戸	長崎	上海	香港
大丸	一等		三〇〇米弗	三一〇米弗	三一〇米弗	三四六米弗	三七五米弗
	二等		一七五米弗	一八一米弗	一九二米弗	二〇三米弗	二一八米弗
洋丸	乙二等		二二〇圓	二三〇圓	二四〇圓	一二〇米弗	一三〇米弗
	洋食三等		一四〇圓	一四五圓	一五〇圓	一六〇墨弗	一六〇墨弗
天春丸	一等		三〇〇米弗	三一〇米弗	三三四米弗	三四六米弗	三七五米弗
	二等		一五〇米弗	一五六米弗	一六七米弗	一七三米弗	一八八米弗
洋丸	洋食三等		一四〇圓	一四五圓	一五〇圓	一六〇墨弗	一六〇墨弗
	和食三等		一一五圓	一一九圓	一二三圓	六五米弗	六五米弗

船名	等級	自	横濱	神戸	長崎	上海	香港
大丸	乙二等		一九〇圓	二〇〇圓	二一〇圓	一一五米弗	一二〇米弗
	洋食三等		一一五圓	一二〇圓	一二五圓	一二四墨弗	一二四墨弗
天春丸	壹等		二二六米弗	二三七米弗	二五七米弗	二六九米弗	三〇〇米弗
	貳等		一一三米弗	一一九米弗	一二九米弗	一三五米弗	一五〇米弗
洋丸	洋食三等		一一五圓	一二〇圓	一二五圓	一二四墨弗	一二四墨弗
	和食三等		九五圓	九九圓	一〇三圓	六二米弗	六二米弗
こさ丸	一等		一五五米弗	一六五米弗	一七五米弗	一九五米弗	二一〇米弗
	二等		一一三米弗	一一九米弗	一二九米弗	一三五米弗	一五〇米弗
れい丸	洋食三等		一一五圓	一二〇圓	一二五圓	一二四墨弗	一二四墨弗
	和食三等		九五圓	九九圓	一〇三圓	六二米弗	六二米弗
わり丸	洋食三等		一一五圓	一二〇圓	一二五圓	一二四墨弗	一二四墨弗
	和食三等		九五圓	九九圓	一〇三圓	六二米弗	六二米弗

船名	等級	自	横	濱	長	崎	神	戸	上	海	香	港
こさ	一等		二三〇米弗		二四〇米弗		二五〇米弗		二七〇米弗		二九〇米弗	
れい	二等		一五〇米弗		一五六米弗		一六七米弗		一七三米弗		一八八米弗	
やべい	三等		一四〇圓		一四五圓		一五〇圓		一六〇圓		一六〇圓	
丸	和食	三等	一一五圓		一一九圓		一二三圓		六五米弗		六五米弗	

小兒運賃

二歳未満大人定額十分の一。
二歳以上十歳未満半額。

奴婢運賃

一等定額三分の二。二、三等は定額。

大阪商船會社北米航路

あらばま丸型一萬噸級の船を以て、上海、神戸、四日市、横濱、ウヰクトリア、シアトル、ヴァンクーヴァア間を往復するビューゼット サウンド線(所要日數約十二日)は二週一回出帆である。そして北米横斷鐵道に聯絡してゐる。

航海日數十三日、シアトル迄、一等、一九五米弗、三等、一一五圓。

なほ毎月一回、六千噸級の貨物船が、上海を起點として太沽、大連、神戸、四日市、横濱、サンフランシスコ、ロサンゼルス、パナマ經由ニューヨークに通つてゐる。

手記
千石月

注意 郵船會社南米西岸航路、商船會社南米航路及び北米經由歐洲行に
ついでには後に項を改めて詳細に述べる。

郵船定期航路日程表

定期航路の日數、發着時間を知ると同時に、乗船客便宜の爲めにその一例
として最近の左の表を掲げる。
(復航の分は、後述の「日本へ」のところにあり。)

サンフランシスコ行(東航)
(一九二七年八月—十二月)

STEAMERS	H'kong		Shanghai		Nagasaki		Kobe		Shimoda		Yokohama		Hokohu		San Francisco	
	Leave	Arrive	Leave	Arrive	Leave	Arrive	Leave	Arrive	Ar. Ia.	Arrive	Leave	Arrive	Leave	Arrive	Leave	Arrive
Taiyo Maru	Aug. 9 P.M.	Aug. 12 A.M.	Aug. 13 P.M.	Aug. 15 A.M.	Aug. 15 P.M.	Aug. 16 P.M.	Aug. 17 P.M.	Aug. 17 A.M.A.M.	Aug. 18 P.M.	Aug. 18 P.M.	Aug. 20 P.M.	Aug. 20 A.M.	Aug. 29 P.M.	Aug. 30 P.M.	Aug. 30 P.M.	Sept. 5 P.M.
Te yo Maru	Aug. 22	Aug. 25	Aug. 25	Aug. 27	Aug. 27	Aug. 28	Aug. 29	Aug. 30	Aug. 30	Aug. 30	Sept. 1	Sept. 1	Sept. 10	Sept. 10	Sept. 10	Sept. 16
Korea Maru	Sept. 20	Sept. 9	Sept. 10	Sept. 12	Sept. 12	Sept. 13	Sept. 14	Sept. 15	Sept. 15	Sept. 17	Sept. 17	Sept. 17	Sept. 17	Sept. 17	Sept. 17	Sept. 30
Shinyo Maru	Sept. 6	Sept. 23	Sept. 23	Sept. 25	Sept. 25	Sept. 27	Sept. 28	Sept. 29	Sept. 29	Sept. 29	Oct. 1	Oct. 1	Oct. 10	Oct. 11	Oct. 11	Oct. 17
Siberia Maru	Oct. 4	Oct. 7	Oct. 8	Oct. 10	Oct. 10	Oct. 11	Oct. 12	Oct. 13	Oct. 13	Oct. 15	Oct. 15	Oct. 15	Oct. 15	Oct. 15	Oct. 15	Oct. 28
Taiyo Maru	Oct. 18	Oct. 21	Oct. 22	Oct. 24	Oct. 24	Oct. 25	Oct. 26	Oct. 26	Oct. 26	Oct. 26	Oct. 26	Oct. 26	Oct. 26	Oct. 26	Oct. 26	Nov. 14
Teoyo Maru	Oct. 31	Nov. 3	Nov. 3	Nov. 5	Nov. 5	Nov. 6	Nov. 7	Nov. 7	Nov. 7	Nov. 7	Nov. 7	Nov. 7	Nov. 7	Nov. 7	Nov. 7	Nov. 25
Korea Maru	Nov. 12	Nov. 16	Nov. 17	Nov. 20	Nov. 21	Nov. 21	Nov. 21	Nov. 21	Nov. 21	Nov. 21	Nov. 21	Nov. 21	Nov. 21	Dec. 9
Shinyo Maru	Nov. 29	Dec. 2	Dec. 2	Dec. 4	Dec. 4	Dec. 5	Dec. 6	Dec. 7	Dec. 7	Dec. 7	Dec. 7	Dec. 7	Dec. 7	Dec. 7	Dec. 7	Dec. 26
Siberia Maru	Dec. 14	Dec. 11	Dec. 15	Dec. 18	Dec. 19	Dec. 19	Dec. 19	Dec. 19	Dec. 19	Dec. 19	Dec. 19	Dec. 19	Dec. 19	Jan. 6

EASTBOUND

乗船券購入の時

各汽船會社の本社及び支店又は代理店で乗船券を求めることが出来るが、その前に左記の書類を提示しなければならない。

- 一、米國領事査證濟旅券。移民査證又は再入國許可證。
- 二、種痘證明書。トラホーム及十二指腸蟲無病證明書。
- 三、米國移民官に提出すべき入國宣誓書。

なほ入國税を乗船券購入の時拂込むことは前にも述べた。

乗船地案内

各等共乗船前に、成る可く出帆當日、或は前日(乗船地の水上警察署に旅券を提示して檢證を受けなければならぬ。(なほ横濱出帆後港外に假泊して、水上署の旅券檢査竝に船内捜査がある。))

手荷物の積込は、多量なれば左記の係員に頼むのが便利であるが、普通は人力車、旅館の荷扱人等にたのんで船側まで運搬させて、税關赤帽(鐵道構内の赤帽と類似のもの)に託して各自の船室に積込むのである。

東京方面からは

芝汐留驛及び

丸の内郵船ビル船客課

横濱船客送迎所出張所

横濱 横濱税關構内萬國橋際

横濱船客送迎所

神戸 三ノ宮驛南側出口

山崎旅行案内所、三ノ宮出張所

乗船地の旅館

尙ほ左記の旅館は最も信用のあるもので、萬般便利である。

横濱 大勢屋、津久井屋、長野屋、松坂屋、紀ノ國屋、讃岐屋、上州屋、大島屋、大森屋、津多屋、熊本屋、福島屋、金龍館、宮城屋、横濱ホテル、廣島ホテル、東洋館
神戸 山崎旅館、神戸館、薩摩屋旅館、高谷旅館、岩國屋旅館、ゑびすや旅館、今泉旅館、自由館。

長崎 小林屋、福木屋、山口屋。

横濱驛より岸壁迄 人力車賃 一回、自動車 一回五十錢

同驛より水上警察經由岸壁迄 一回三十錢 二回

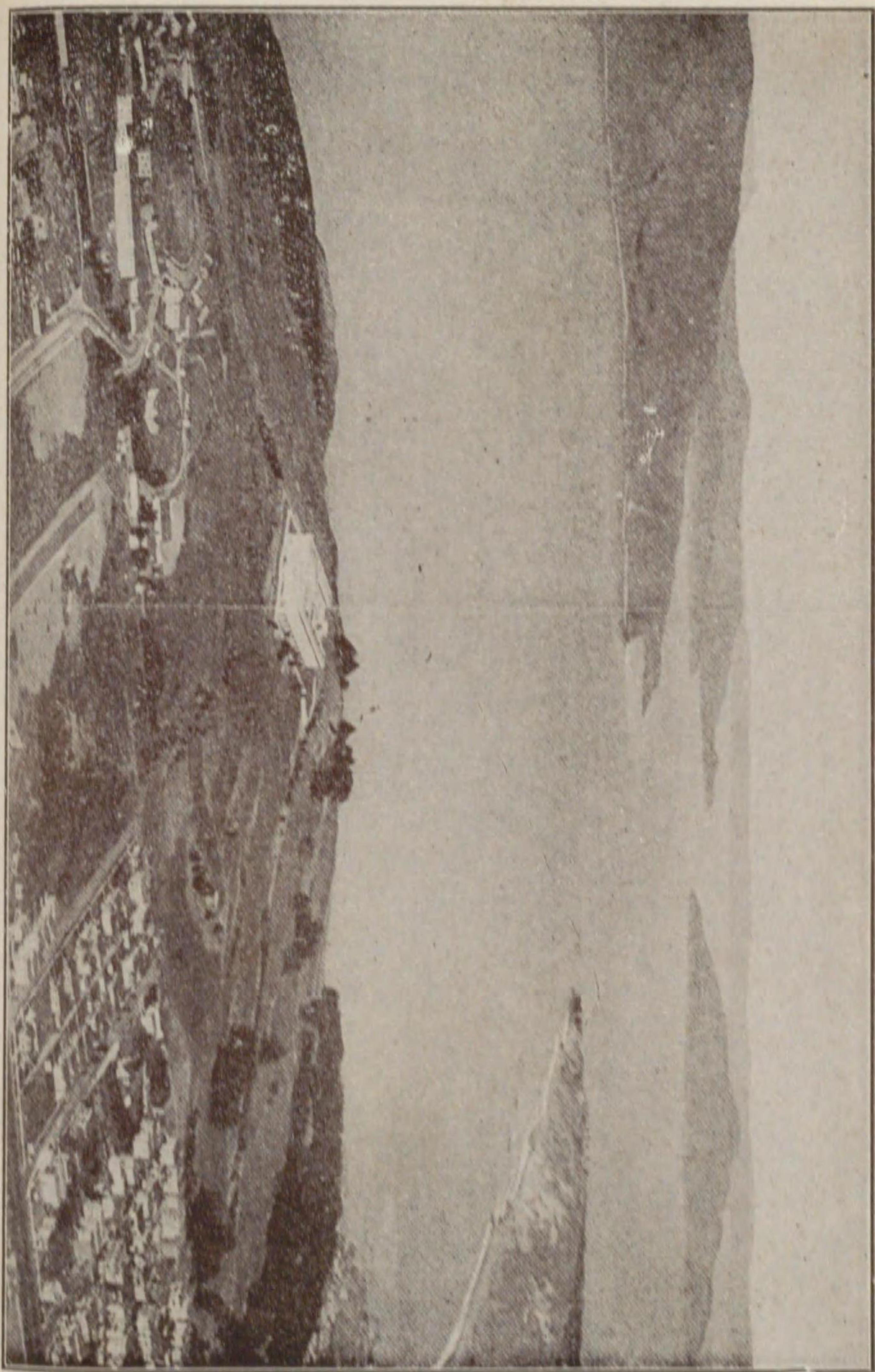
櫻木町驛より岸壁迄 五十錢 一回三十錢

同驛より水上警察經由岸壁迄 八十錢 一回八十錢

三ノ宮驛より第一突堤まで 人力車賃 八十錢



GOODBYE!



エーデルワイス (エーデルワイス) (エーデルワイス) (エーデルワイス)

いよいよ出発

横濱出帆

米國に向つて日本を離れる最後の地點は横濱である。今や出帆船に乗ると、見送つて呉れる人々の花束や色紙サーベントが海風にひるがへつてゐる間に銅鑼がひびき渡る。そして汽笛と、船内より聞える解纜の奏曲と訣れの聲の中に靜かに巨船は進む。

港外にて密航者捜査の爲め約二時間假泊した後、親しい東京灣を出ると

渺茫たる太平洋を越えて目ざす新大陸へ向ふのである。

日本領海附近は多少の風波があつて、横濱出帆後二日半にして黒潮の潮流を超える。黒潮の幅は約三十里でこれを横ぎると海上平穩となり、航海にも慣れて愉快になる。

横濱を去ること三千三百八十哩約九日にてハワイ島につく。

ハワイ首都ホノルル (Honolulu)

ハワイ群島は洋上の樂園と謳はれ、太平洋の十字街と呼ばれてゐる。オアフ島のホノルルには同胞邦人が多くはたらいてゐる。

サンフランシスコ航路の船はこゝに約十時間碇泊する。米國人以外

の外國人が一時上陸することは移民局で黙許してゐるので、上陸見物しやうとするものは着港前に事務長から通船客證明書 (Landing card) を貰つて、檢疫竝に移民官の人員點呼を受けた後、本船の出帆時刻を聞いてその約一時間前に歸船する豫定で上陸する。(再び移民官の點呼を受けなければならぬ)。碇泊中盜難に罹らない爲めに、各自船室の窓を鎖し、戸に錠を下して置くことは上陸見物の場合特に注意すべきである。

波止場に日本人又は土人の經營する自動車が澤山ある(料金は一時間約三弗、チップ五十仙位)今、その一つを驅つて東北の郊外へ六哩走ると、ヌアヌバリ(バリ)は土語にて峠の意に達する。その絶頂からの眺望は雄大である。此處は、一八九八年に米國に併合されるまでハワイ群島に君臨してゐた國王の祖宗カメハメハ一世が、一七九五年ハワイ八島統一を成就した最後の古戰場である。頂上の岩壁にはその記念文を刻んである。

ヌアヌパリから引返して市の東南郊外に出て、昔の噴火口の跡と云はれ今は要塞であるダイヤモンドヘッドを一周してワイキキの濱に遊ぶ。ハワイ名物である土人の波乗りなどもこの海岸で見ることが出来る。又魚族の珍種の多いことで世界屈指の一となつてゐる水族館がある。更に自動車を走らせて、市の西北端約四哩のところにあるモアナルア公園に行く。そこに繁茂した熱帯草木の美は格別でまた、その一隅に日本庭園を見るのも懐しい。

最後に市内に戻つて買物などしたり、時間があればビショップ博物館、カメハメハ學校、ハワイ大學等を見るのも面白い。尙ほ、有名なキウラエア火山等を見物するには相當の日數が要る。

時差と日附變更線

英國のグリニッチの子午線を経度の基點零度としてあるので、英國の正午に比較するとその時香港、上海、臺灣地方では午後八時、日本内地は九時、サンフランシスコ、シアトル地方は午前四時、ハワイ地方は午前一時半である。ハワイ地方は太陽が西徑百五十度半の子午線を通過する時を標準時の正午としてゐる。

北米合衆國本土では四地方に分つて、Pacific time, Mountain time, Central time, Eastern time の四種の標準時を定めてゐる。サンフランシスコ、ロサンゼルス、シアトル地方は Pacific time で、太陽が西徑百二十度の子午線を通過す

る時をその標準時の正午としてゐる。

明治三十八年一月一日に、旅順陥落の電報が、日本よりも却て歐洲の方に早く傳はつたといふことは有名な話である。しかしこれは太陽と電報とが同じ西方に向つて競争したので、日本と英國との時間の差は九時間であるから、太陽が九時間を要する處を電信は一時間位で到着した譯である。例へば日本の正午に電報を發したとすれば日本の時計では午後一時頃英國に到着することになるが、日本の正午が英國では午前三時であり、電報は午前四時頃に着いたことになつてゐる。即ち時計面では日本より早く知つたといふことになるが、勿論實際の時間が早かつたわけではない。日米間の電報も發受の時刻面を見ただけではかういふ思ひあやまりが起る。

次に日附變更線 (Date line or Calendar line) とは太平洋を縦貫する徑度百八百度にほほ近いものであつて、サンフランシスコ航路では、米國向の場合

横濱から航走約二千九十里、約六日目、又日本向の場合にはホノルルから航走約千三百里即ち約四日目にその線を通過する。

日本からサンフランシスコに向つて東航する船舶はこの線を越えれば、一日前の日附に逆戻りして同一日を繰返すのである。これと反對に米國から日本に向つて西航する場合にはこの線を通過すれば新日附に移り舊日附を棄て、一日飛び越す事になる。

例へば横濱サンフランシスコ間所要日数は曆面では十五晝夜であるが、實際は十五晝夜十七時間であるといふことになる。